京城日報

四日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 (郵送限前金)一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓[illegible] ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲場所指定一行金拾錢增 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奥山仙三 印刷人 [illegible]口政太郎

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目 電話 編輯局[illegible] 營業局[illegible] 振替貯金口座京城三〇〇番

歐洲大戰亂

▲墺國和戰意見の三派

維納來電=目下墺國政府の意見は三派に分れ居れり即ち一、速に平和を求む可しと云ふ者二、此戰爭を繼續す可しとする者三、匈牙利系政治家の和戰何れを執るとしても絶對に墺國の土地割讓に贊成せずと主張する者。是れなり、而して羅國の中立を維持せしむる方便として墺國はトランシルバニアを羅國に割讓す可く其代りに曩にフリードリッヒ大王が墺國より奪ひしシンヂャ州を返還す可しと說き居れり墺帝は戰爭終局前に萬一の事あらんには國內混亂するに至る可きを憂ひ急速の平和を希望し居るも獨帝は先づ佛露伊と別々に媾和し最後に英國を再起せざるまでに擊破し盡くさずんば滿足せざるが故に墺帝より西班牙を通じ羅馬法皇に向つて媾和斡旋方を盡したる事判明し之を取消さしむ可く約さしめたり(倫敦電報)

▲獨逸媾和協議

伯林よりの報道に曰く、獨逸宰相は近々媾和に關する協議を爲す筈なるが聯合國側が獨逸の經濟狀態を以て極度に疲弊せりと做へつゝあるに對しては嘲笑を以て迎へられつゝあり(倫敦電報)

▲露軍羅馬尼に入る

ゼネヴア來電=常に確報するを以て名あるトリブ新聞の報道に依れば、露軍はイスメイルの南より多惱河を渡りイスメイルを距る西南五十哩に在るババダー府(羅馬尼)に到著せり(倫敦電報)

◎定例內閣會議

議會に關する協議

三日は定例閣議日なるを以て午前十一時より早稻田首相邸に於て閣議を開き岡陸相以外の各大臣參集來る七日貴院に於ける大隈首相の施政方針演說並に外交問題に關する協議を爲し尙ほ今期議會に提出する各法案に就ても各所管大臣の說明ありて協議を遂げ一同午餐を共にし午後尙ほ協議を繼續せり七日の施政方針演說は大隈首相和服にて病を押して出席演說する覺悟なりと(東京特電)

◎海軍造技監新設

現行海軍武官の官階は去る明治三十年制定せられたる儘なりしが三日官報を以て之れを改正し新に將校相當官に造技監を新設せられたり(東京特電)

◎朝鮮總督府辭令

三日左の辭令ありたり(東京特電)

朝鮮總督府技手兼朝鮮總督府中央試驗所技手 上杉綱雄
任朝鮮總督府農林學校教諭兼勸業模範場技師(高等官七等)

總督府鐵道局技師 中野深
兼任朝鮮總督府技師(高等官四等)

◎岡村技師陞叙

朝鮮總督府鐵道局岡村技師病氣危篤の趣天聽に達し位勳陞叙の御沙汰ありたり(東京特電)

總督府鐵道局技師 正五位勳四等 岡村初之助
叙從四位(特旨)敍勳三等授瑞寶章

雜報

◎總督訓示

農業技術官會議にて

農業の振興は施政以來本總督の最留意せる所にして各位も亦克く其趣旨を體し指導奬勵に盡瘁する所あり、幸にして事豫期に反せず、既往に於ける實績は之を曩に開催せる共進會の出品に徵するも頗る顯著なるものあるを認め得たり、又本年に於ける主要農產物の生產狀況を觀るに米は近年稀なる旱魃に遭遇せるにも拘らず、昨年の大豐作に比し僅に一百萬石の減收に止まり能く一千一百萬石の收穫を得、其他に在りても昨年に比し麥は四十餘萬石、大豆は二十餘萬石、棉は六百二十餘萬斤、繭は一萬六千餘石を增加し、優に一段の進境を示せり、又貿易の狀況を顧るに米は本年一月より十月に至る十箇月間に於て輸移出高一百八十餘萬石に達し、米價甚しく低落せるに拘らず昨年の同期間に於ける輸移出高に比し五十一萬石を增加し、大豆、繭、牛皮の輸移出亦著しく多きを加へたり、而して此期間に於ける主要農產物の輸移入は昨年の同期に比し米は三十一萬餘石より三萬四千餘石に、粟は十二萬餘石より十萬餘石に、小麥粉は約二千萬斤より八百五十餘萬斤に減少するに至り、生產の進步著しきと共に貿易の趨勢益々順調に向はむとするを見るは邦家の爲め誠に慶す可きなり、然れども朝鮮農業の現狀は纔に多年の頽勢を挽回して進步の道程に入りたるに過ぎず、之をして隆昌の域に達せしむるには前途尙ほ遼遠なり、玆に主要の事項二三を摘示して各位の注意を喚起すると共に更に一般の努力を促さむとす

朝鮮米の乾燥調製の改良は其の聲價を高め販路を擴むる上に於て喫緊の要件にして、從來之に關する注意を促し、又曩には米穀檢查規則を發布し先づ輸移出米精選の實を擧げしめむことを期せり、幸にして改良の實漸次認む可きもののあるも輸移出米中尙ほ不合格米多きを占むるの狀況なるは誠に遺憾少しとせず、更に奮勵して產米精選の實を擧ぐるの方途を講じ、速に朝鮮米をして廣く市場に賞用せらるゝの商品たらしむ可し

朝鮮に於ては耕地總面積大凡三百萬町步の內其約三分の二は田之を占むるの狀況にして田作の改良は畓作の改良と共に朝鮮の農業振作上極めて重要の關係を有す、既往の成績に徵するに棉作の擴張、大豆の改良增殖、甘藷、馬鈴薯の栽培普及等見る可きものあるも、獨り小麥は朝鮮に於ける風土に適し、現に之を共進會の出品に徵するも頗る品質優良なるものを生產するに拘らず、其改良增殖の成績は遲々として未だ振はざるの感あり、小麥は性質上販路極めて廣汎なるのみならず朝鮮に於ても小麥粉の輸入は年々頗る巨額に上るの狀況なるを以て宜しく小麥作に一段の力を用ひ、優良種の普及と地方の事情の許す範圍に於て其作付の增加を圖り以て改良增殖の實を擧ぐ可し

蠶業發達し優良種繭の產額增加するに隨ひ、各道共に共同販賣の方法に依り優良種繭の移出奬勵に努めつゝあるは誠に宜しきを得たるものと謂ふ可し、向後益々共同販賣の普及を圖ると共に其組織運用の途を完全にし、產繭の販賣に便せむことを望む、然れども繭の販賣盛なるに從ひ動もすれば不正行爲の其間に行はるゝの虞なしとせず、深く戒む可し

畜牛增殖の成績は年々見る可きものあるも之が改良に要する優良牛の保護未だ普からず、加ふるに需用の方面に於ては成る可く優良牛を採りて輸移出並に屠殺の用に供するもの益々增加するの傾向あり、斯くの如くむば頭數增加するも畜牛の品位體質は却つて劣變退化するに至るの虞なしとせず、各道に於ては向後一層優良牛の保護を周密にし、牝牛及び犢も優良なるものは之を保護し、畜牛の增殖と共に其品質改良の實を全うするに努む可し

始政五年記念朝鮮物產共進會は豫期以上の成功を以て終を告け朝鮮產業の狀況を內外に紹介し得たるは勿論朝鮮民衆の智識を啓發したること多大なる可きを信ず、此秋に方り各位は共進會に依りて研鑽したる所並に審查の報告に依りて各地農業の優劣を考覈し、其由りて來る所を察し長を採り短を補ひ以て今後の指導奬勵に遺憾なきを期す可し

◎商議規則改正

創設の場合に限る

總督府にては京城商業會議所の設立認可と共に四日附を以て商業會議所令施行規則の一部に對する改正の件を發布せり、這は創設の場合に於ける特種の權限を認容せるものにして施行規則に於ては評議員に選擧せらる可き資格は商業會議所會員にして法人又は年齡三十歲以上の男子一年以上引續き其地區內に居住するものに限る規定なりしを、今回創立の場合に限り定款を以て短縮し得るの規定を設け定款に於て其の期間を創立の場合に限り六箇月とし、又商業會議所設立の際選擧さるゝ評議員の任期は定款を以て之を二年以下と爲すことを得るの規定を設け原則たる二年に對して例外を置くことゝなれり而して定款に於ては第一回の評議員の任期は大正六年十一月三十日限り退任することゝなり居れり因に選擧に關する心得は本紙別項に記載せるを以て就て參照す可し

◎京城商業會議所設立認可

新令に伴ふ定款の要旨

豫て認可申請中なりし京城商業會議所設立の件は既記の如く四日附を以て認可されたり、而して之れに伴ふ新定款は大修正の上認可されしが此定款は新商業會議所令に基き今度各地に設立さる可き商業會議所の絶好資料たるを以て左に其要綱を概說す可し

(一)會員の資格は新商業會議所令並に施行規則に依りて定められたる事項の外京城府營業稅年額十三圓以上を納むるもとし(二)評議員の定數は三十名にして其定數中內地人及び鮮人數は發起人會に於て之を決定す但し會議所の調查に依れば一二級共內地人十二名、鮮人三名なりといふ、而して其評議員は會員の互選に依りて決せらるゝものにして其選擧は二級選擧に依り、毎級各別に評議員の半數十五名宛を選擧す(三)本會議所には會頭一人、副會頭二人、常議員四名を置き、評議員の互選に依りて定めらるゝものにして會頭は會議所を代表し評議員會、役員會の議長となり、會議所の事務を總攬す、副會頭は會頭を補佐し會頭事故ある時其職務を代理するものにして其順位は評議員會の決議に依る、常議員は商工業の狀況及び統計の調查商工業の改善發達に必要なる法案の調查を分擔することを主たる業務とす(四)評議員會は商業會議所の議決機關にして定期を毎年一月及五月とし必要なる場合に於ては臨時會議を開きて經費の豫算及び其賦課徵收の方法、經費の決算、役員の選擧、經費の出納者の處分等重大なる會議所の事務を決議す(五)役員會は會頭副會頭常議員及び特別評議員を以て組織し、會頭必要ありと認むる時、又は役員三名以上の請求ありたる時に限りて之を開き評議員會に提出す可き議案を審查し又は評議員會の權限に屬する事項にして急施を要し評議員會を開く暇なき場合に於て評議會の決議に代る可き決議を爲すことを得(六)商工業に關する諸種の紛議は當事者間の請求に依りて本會議所に於て判斷することを得、其當事者は一件に就き二百圓以下の手數料を納めて仲裁を請求するものとし、其仲裁は評議員及び特別評議員中より役員會に於て選定したる仲裁委員其判斷の任に當るものとす(七)會議所の庶務は書記長一人、副書記長一人、書記、囑託雇員各若干人之を掌り文書、調查、會計の三課に分つ(八)定款の變更及び解散は商業會議所の重要事項なるが爲め其決議は評議員會に於て評議員及び特別評議員三分二以上出席し更に其三分二以上の同意あるにあらざれば之を爲すことを得ず、而して其定款の變更に就ては總督の認可を受け又解散の決議を爲したる時は會頭副會頭及び常議員は原則として會議所の清算人となる

定款の要旨は大體右の如くなるが更に今回創立の場合に於ては以上述べたる主旨に依りて實行し得られざる場合多きを以て其規定に依らざるものを定められたり、即ち商業會議所の事務並に選擧に關する事項は發起人に於て之を行ふことゝなれり

◎農技官會同(第五日)

農業技術官會同第四日の席上に於ける寺內總督の訓示は別項記載の如し而して第五日も前日に引き續き四日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、出席者前日の如く豫定の日程を議了し午後四時散會したり

◎農技官午餐會

石塚農商工部長官は四日午後零時より農業技術官會同列席の爲め入京中なる各道農業技師、勸業模範場長以下各技師等を朝鮮ホテルに招待し午餐會を開きたるが總督府よりは農商工部各課長技師等亦參列し總數三十二名に達せり

▲選擧方法

京城商業會議所は四日認可と共に左の如き選擧人心得を發表したり

一、選擧す可き內鮮人別員數
一級評議員 內地人 十二人 朝鮮人 三人
二級評議員 內地人 十二人 朝鮮人 三人

一、投票に記載す可き被選擧人數
一級 一人
二級 一人

一、投票を行ふ方法
(イ)選擧人たる者自ら選擧場に至り選擧人名簿の對照を經て投票簿に捺印すること
(ロ)選擧委員より投票用紙の交附を受け之に自ら被選擧人の氏名(一級一人)(二級一人)を記載し投票し投票函に投入すること
被選擧人中同一氏名若は名稱の者ある時は投票用紙に其の住所又は營業の種類を附記すること
投票者は自分の姓名を投票に記載すべからず
(ハ)法人 本會議所地區內に本店を有する選擧人女子又は無能力者は左の代人を以て選擧を行ふこと
(一)法人は其業務を執行する社員、取締役又は支配人
(二)本會議所地區內に本店を有せざる選擧人にありては地區內に於ける營業所若は事務所の責任者
(三)無能力者に非ざる女子に在りては自ら選任したるもの
(四)無能力者に在りては親權者、後見人、保佐人又は夫代人は日本臣民たる成年の男子にして禁治產者又は準禁治產者たらざることを要す定款第六條各號に該當せざる者に限る
一人にして數人の代人となることを得ず代人は選擧を爲す可き其の資格を證す可き書面を提出すべし
(三)選擧す可き評議員の員數は內鮮人に區別するも選擧は內地人にして朝鮮人を投票し朝鮮人にして內地人を投票するも隨意のこと

一、投票無効の場合
一、成規の投票用紙を用ひざる者
二、記載の人員選擧す可き定數を過ぎたるもの但し同一氏名又は名稱を復記したるときは其一人のみを有効とす
三、被選擧人の氏名又は名稱の外記事を記入したるもの但し爵位職業、身分、住所又は敬稱の類は差支なし
四、被選擧人の何人たるかを確認し難きもの
五、選擧せらる可き資格なき者の氏名又は名稱を記載したるもの

一、選擧人たる資格
本會議所に於て十二月六日より十日迄五日間縱覽に供す可き選擧人名簿に記載したる會員は皆選擧人たる資格を有せらる

一、被選擧人たる資格
法人又は年齡三十年以上の男子にして六月以上引續き會員たる資格(京城府の營業稅年額十三圓以上の納付者)を有する者但し合名會社の社員又は合資會社に在りては無限責任社員の全員株式會社に在りては取締役の全員日本臣民たることを要す
法人たる評議員の當選者を內地人朝鮮人別に決定する場合に於ては左項に依る
合名會社に在りては社員、合資會社又は株式合資會社に在りては無限責任社員、株式會社に在りては取締役の各半數以上內地人なる時は內地人とし朝鮮人なるときは朝鮮人とす內地人朝鮮人同數なる時は內地人とす

一、被選擧人氏名の認め方
被選擧人の氏名若は名稱のみを記することにして被選擧人中同一氏名若は名稱の者ある時は其住所又は營業の種類を附記することを要す法人を選擧する時は(株式會社何々銀行)又は(何々株式合資會社)等單に法人の名稱のみを記し其代表者を附記すべからざること

人事消息

▲平井三男氏(專賣課長) 出張所事務監督及び煙草製造狀況視察の爲め六日より一週間忠南北及慶南北四道へ出張
▲岩崎信太郎氏(仁川土木局技師) 群山稅關棧橋架設其他工事竣工檢査の爲め五日群山へ出張
▲野手耐平氏(鎭南浦稅關長) 鎭港陸上設備打合の爲め三日出府を命ぜらる
▲林茂八郎氏(麥酒會社出張所長) 內地より二日歸京せり
▲岡本大佐(第九師團參謀長) 西鮮[illegible]檢査の爲め出張中なるが四日夕歸任の豫定
▲福田增兵衛氏(釜山實業家) 同上投宿
▲吉松憲郎氏(平南第二部長) 家族を纏めて四日入京、同日[illegible]の上赴任す可し
▲小城齊氏(鐵道局建設課長) 五日歸任

宇治茶直接販賣

御所拜觀ご御土產
御大典御所の拜觀には何卒御上京の御序と奉存候弊店は記念の爲特に勉強仕候[illegible]御買上願上候 (京都市地圖御代進呈)
御茶銘錄定價表(二百目ニ付) ◎玉露製 ◎煎茶製 [illegible]
製茶問屋 本店 山城宇治乙訓久世 營業所 京都七條東洞院角 井上六平
(特振)東京六二九三 大阪七一四 電話下二五八四 販賣御望ノ方ハ御照會願度候

碁
名人 本因坊講述 高等研究 完成合本改題 囲棋神髄
特價販賣期限切迫
本書は名人過去八年間心血を注ぎし大著述斯道の大辭典
獨習囲碁見本 [illegible]
東京神田四日市中央 囲碁會

呉服物問屋 井筒屋 大路本店
大阪市御堂筋北久太郎町
電話東百九十番 振替大阪一四一八八
御一報次第相場表御送付可仕
大阪呉服物新進會ニテ毎月
一回定送付ノ特約可致候

酒煙草きらいになる薬
禁酒丸 禁煙液
どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる 郵券武錢送れば說明書と大澤博士の禁酒禁煙論進呈
其他名士の[illegible]
本舖 大阪市南通二 森田商[illegible]

開店披露 景品附大賣出し

來る十二月五日より
三十一日まで

弊店儀

今般本場秩父銘仙及京襟を原產地より直移輸入原價同樣を以て各位の御滿足に應じたく開店仕り候條賑々敷御一覽の爲め御來駕の程伏而奉懇願候
尙ほ開店披露として壹圓毎に空籤なし左の景品進呈可仕候

景品目錄
一、東京桐簞笥 一、大姿見
一、茶棚 一、桐手簞笥
一、鏡臺 一、宣德火鉢
一、重箱 一、鐵瓶
一、茶器 一、火鉢
一、羽二重肩裏 一、本場秩父名仙
一、バスケット 一、半襟
一、メリヤス
其他いろく

京城本町一丁目(郵便局前)
丸木呉服店
電話一三四二番

餘香を拜すべく 長蛇の列なせる

京都御所拜觀の人波

急轉直下の勢

會議所の認可＝逐鹿界活氣を呈し來る

▲認可指令來る 本月九日其筋に認可申請書を提出したる京城商業會議所設立認可申請書（定款）は其後京城府道を經て總督府に提出したるが一應總督の査閲を仰ぐの必要ありとし客月二十九日一件書類を東京に逆附して決裁を求むる所ありしに折よく東京滯在中なる原田創立委員も親しく總督と會見して諮問に答へ專ら認可指令の急速ならんことに勗めたる結果三日午後に至り認可を決定したるを以て一件書類は四日午前十時大村書記長京畿道廳に出頭して受了し茲に全く認可指令の手續を終了したり

▲選擧名簿縱覽 會議所にては豫ねて三四日中に認可あるものと見做し各般の準備を整へ置きたるため三日夜來直ちに其の豫定の行動を開始し四日早朝より創立委員七名に對し通牒を發すると共に新聞紙上への公示等を行ひ當局に向つては内鮮人別にする被選人定數の認可を申請したれば其指令に接し次第更に前同樣京城商業會議所評議員の選擧を行ふ可き旨六日を以て發表直ちに同日より十日迄選擧人名簿の縱覽を許すこととなるべし

▲候補者の顔觸 斯の如く急轉直下の勢を以て京城會議所の設立を見たるため候補者側も大活氣を呈し來り何れも猛烈なる運動を開始するに至りたり三日迄は内地人側一級十二名二級十六名の候補者あるに過ぎざりしが形勢は一夜にして大變動を來し左の如き顔觸を見るに至りたり

▲一級候補者

一、内地人 評議員定數十二人 選擧有權者十四人

梶原末太郎 林田金次郎 岡正充 原田金之祐 高木德彌 篠崎半助 釘本藤次郎 廣江澤次郎 關繁太郎 佐野彦藏 唐川立造 林茂八郎

二、朝鮮人 評議員定數三人 選擧有權者三人

韓相龍 白潤洙 白完爀 趙鎭泰

▲二級候補者

一、内地人 評議員定數十二人 選擧有權者四百廿六人

大和與次郎 深水清 堀尾潔 遠藤廣吉 增田三穗 執行猪太郎 藤田安之進 石野熊一郎 岩城馨 古城龜之助 藤富國太郎 鍋島宇吉 横田龍三郎 首藤定 天日常次郎 谷口小次郎 齋藤治平 進辰馬 近藤修 小谷清 池田長兵衛 辻本嘉三郎

二、朝鮮人 評議員定數三人 選擧有權者百四十三人

金漢奎 屋根澔 崔萬榮 宋宅洙 朴承稷

▲逐鹿界の形勢 認可申請書に添附したる會員（選擧有權者）の總數は五百八十七名にして其内譯は前項の如く一級内地人十四人朝鮮人四人二級内地人四百二十六人朝鮮人百四十三人なり而して一方被選擧人の定數に就ては京城會議所に於て一級内地人十二人朝鮮人三人二級内地人十二人朝鮮人三名と公示さるゝ筈にて

▲現在の候補者 より云はゞ鮮人は三名に對し一名の剩員あるのみにて今後と雖も新顔の出さうな模樣無ければ先づ現在の所韓相龍、白完爀、趙鎭泰の三氏最も屬望され居れり内地人も亦た殆んど定數一杯なれども昨夜中に至り突如として京城實業界の岡正充氏立ちたるため一級候補者に大恐慌を來し或は二級に切込まざれば得票出來ざる者も生じけたり尚ほ一級に限り選擧は修正定款に於て無記名の二名連記投票と規定されたり尚ほ投票は一級共鮮人が内地人を内地人が鮮人を投票するも自由なり一級が比較的に定數と同一位の候補なるため競爭無かる可しと觀する者あれども内々油斷はならず是より形勢一變して一級にも相當數位の候補者あるべしと云ふ者あれど今の所混沌たる有樣なり二級は内地人評議員の定數十二名に對し内地人約二十人の候補者あり自然

▲劇烈なる競爭 は免れざるべく就中深水清、大和與次郎辻本嘉三郎遠藤廣吉氏等の新手も加はり加ふるに堀尾潔氏が若し立つに於ては一層競爭に油の乘るは必定にて又尖けて二級戰は競爭の仕甲斐あり興味あるものと云はざるべからず朝鮮人は如何と窺ふに三名の議員定數に對し四人の候補即ち屋根澔、宋宅洙、崔萬榮、朴承稷諸氏の有力者推立運動の勢を以て或は内地人の二氏の少壯者より… 形勢は時々刻々變化し行きつゝあり

新博物館

景福宮裡の異彩

今秋共進會々場に宛てられたる景福宮の構内はあのまゝ閉塞されるのは如何にも惜しい事であると思はれて居た處、總督府では這回宮城内全體を一大博物館として一般の觀覽を許すやうになつた、就ては從前の美術館を博物館本館とし審勢館と改稱して少々の工事を施した上陳列替をなし猶ほ共進會中の鐵道館は這回交通局土木局の參考品も聚集陳列することゝなつた、又本館美術館は共進會中とは全然趣きを替へ一般朝鮮に於ける歷史參考品及び美術品等を網羅することゝなつた、次に勤政殿の廻廊には佛像、石碑、朝鮮古武器等を陳列し、思政殿には又同樣の武器を陳べる、猶ほ交泰殿の御大典模型は從前のまゝ拜觀が能きることとなつた、開館は十二月一日から始まつたけれども目下陳列を完成したのは美術館のみで他は著々準備中來る十日頃までには完成するであらう、休日は毎週月曜日及び祭日の翌日、年末は本月廿五日から正月の三日まで休む、縱覽時間は朝の九時半より午後四時まで入場料は大人五錢十歲未滿無料である、猶ほ入場者は景福宮

雉子百五十羽と鹿三頭

朝鮮へ出獵せる支那の總税務司

支那總税務司アグレーン氏が去る二十七日安東縣を發して京義線新幕地方へ出獵せることは其當時報じたるが同氏は出發の際滿洲銃獵界の嗣者たる安東縣五番通小倉松太郎氏の愛犬一頭を借受けて之を携へたるが場所は京義線隨一の狩獵地なる射手亦斯道の名手のこととて思ふ存分に附近の山野を狩立て僅々三四日の間に雉子百五十羽とそれに鹿三頭の大獲物ありたるに忽ち大得意にて引揚げ二日午後急行列車にて安東縣を通過し北行歸任の途に上りたり（安東縣）

朝鮮人に化けた曲者

原籍福岡縣生れの小松龍造（三）といふ前科三犯の曲者は十四歲の時渡鮮し久しく慶北開慶に入り居り朝鮮の事情に精通し從つて言語等も全く鮮人と異ふ處なきまでに上達し居れる幸ひに鮮人の服裝をなし巧みに鮮語を使用し朝鮮人となり濟して朝鮮各道を徘徊し巧みにその筋の眼を誤魔化し時には鮮人と詐稱して内地人の店の雇人となり金品を窃取し又は料理屋等の板場として住み込み主人より物品買入れその他のために委託されたる金錢を中途にて横領費消し或は憲兵派出所の手に取押へられ大邱地方法院檢事局に護送されたり

阿片密賣者は

罰金三百圓

神奈川縣都築郡柿生村當時元山壽町二丁目藥種商守谷熊太郎（三）は昨年一月より本年四月迄の間に數回に亘り自宅にて藥品非營業者なる李某に正當の手續を經ずして劇藥鹽酸モルヒネ約三千三百八十九瓦を密賣したる爲め十月三十日元山支廳に於て罰金三百圓の判決となりたるを京城覆審法院に控訴したる所十二月三日控訴棄却となりたり

大豹二頭を斃す

忠北陰城郡孟洞面は鎭川郡に境し山嶽重疊して交通の便を缺ぎ古來より猛獸の棲息するもの多く從つて年々之が爲め牛馬犬豚の害に遭ふこと尠なからず近時三頭の大豹出沒して家畜を掠め去ること頻々たるより村民も深く恐れをなし日沒と共に外出する者なかりしが去る三日鎭川の山本藤榮氏は同地居住の熊谷庄之助氏

こころ自慢

△西小門町 山田楠男投

僕は京城中で西小門町が一等好きだ官吏の方では二人の國分さんを首め芳賀博士だの、弓削さんだの、上林さん、宮木さん、松寺さん、和田さん、中村さん、深澤さん、近藤さんだのその外隨分偉い人が澤山居られます、會社の方の人では野用さん、林さん、役所では高等法院、土地調査、中樞院なんかもあります併し僕の西小門町を愛する本當の理由は自分等の家があるからです、自分等、全く自分等といふより外は無い、そこには主人がなくて三人です、二人は貴家、一人は私、お隣の白は春九匹、この間七匹お產をしました、その小供達は近所の愛嬌者で皆に可愛がられてゐます、此町の人は病氣すれば町内の菅さんを頼みます、辯護士の朝倉さんも町内です、南大門が前きに聳え、南山に對して、京城市中が一眸の裡に集り春から夏、夏から秋、秋から冬と移つて行くのが本でも讀む樣に判明と朝夕眺められます

貨物を横領す

石川縣金澤市上小川町當時咸北慶興郡雄基面居住運送及び艀船業山本外機志郎（二九）は同地雄基鮮運合名會社支店の荷捌業に從事し荷物の保管中大正三年十一月六日荷主不明の砂糖一俵及び麥酒一箱（四十九本入）を同地雜貨商太田常吉に金十八圓五十錢にて賣却横領し尚本年一月十七日にも荷主不明の白米二叺を雜貨商許元成に金十二圓にて賣却横領したる爲め十月十九日咸興地方法院にて懲役一年の判決を受けたるを京城覆審法院に控訴中

三十五歲の男

京畿道水原郡安龍面下柳川の鐵道線路に十二月三日推定年齡三十五六の内地男の轢死者あり身には毛糸の卷白ねるの肌着に高貴織に似たる竪縞の給及び縞ネルの羽織前垂にて鳥打帽子に紺足袋を穿ち革製の鰐口一個に小林と彫刻したる四角の認印一個及び現金三十錢を所持し居れるが水原署より檢視したるに南大門より水原迄の切符を所持し居れるが前後の事情より見て自殺轢死者と認定し行政檢視の上死體は一先づ同面共同墓地に埋葬したる由

不愛想を根に

岐阜縣不破郡垂井町當時京義線汗浦驛前佐久間定吉（二八）は四十一年中京畿縣にて傷害前科一犯ある者なるが十一月二十九日居住地より入京し黄金町三丁目乙田壽吉郎方に滯在中三十日永樂町二丁目小野方へ知人原田を尋ね行きたる所原田は不在にて折柄居合せたる小柳某の妻が應對したるに其の態度不遜なりとて憤り之を根に持ち翌十二月一日夕刻永樂町一丁目の湯屋にて夫の小柳に出會ひたるも言語を交へず相前後して同湯屋を立出で歸途午後六時頃黄金町三丁目入居大津屋横手小路に差覺るや突然松割木を以て小柳の背後より頭部右手等を亂打し打撲傷を負はしめ輕度の腦震盪を起し疾病休業二十日治療一週間を要する傷害を負はしたる爲め本町署に引致され取調を受く

百萬圓事公判

四日開廷さる

百萬圓欺詐事件として一時世間の耳目を聳動したる大分縣生れ北島靜外一名に對する事件は過般京城地方法院仁川支廳に於て豫審終結有罪と決して京城地方法院合議公判に附せられ十二月四日同法院に於て第一回公判開廷されたり

本町の出火

三日午後八時四十五分頃本町三丁目九十番地酒販賣商本吉某方より出火したるより附近の者協力して防火したる爲め布團一枚疊一枚を燒きたるのみにて同五十分鎭火原因は炬燵の火より發したるなり

猩紅熱蔓延の兆

京城旭町二丁目飯泉方のはな（七）が猩紅熱に罹り入院加療中の所尚同家のすゞえ（九）にも感染し居ること四日診斷の結果判明したり同女は南大門小學校三年生なるより同室は消毒をなしたり

門内に棄兒

京城竹添町二丁目金炳淳方門内に二日午後六時半頃氏名住所不詳の當年四歲なる鮮人男兒泣き居れるを同家妻の崔姓女發見したるより温突に連込み憐みを加へ居れるも引取人來らず殊に『年四歲十一月初六日巳時』と書きある紙片を發見し全く棄兒なることを認めたるより巡回中の鍾路署警官に届出でたるより同署より府へ引渡せり

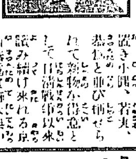
人力車の檢査

鍾路警察署にては去月二十九日より本月三日迄管内の人力車々體檢査を施行し總數五百五十七臺の内檢査濟五百六臺廢車處分となしたるもの十二臺修繕中のもの十七臺事故不參にて未檢査二十二臺なりしが一般車體は以前より優良のもの多く車夫の服裝帽子等にも相當改良せしめたるもありたり

◎感應術實地講習 …氏の心理感應術講習會は四日午後七時より不知火旅館に於て開催

◎三浦辯護士開業 辯護士三浦顯藏氏は…京城に移轉し開業せるなりと

△泰爲の初日



東京同志會に籍を置き小圓、若丸、恭太と並び稱せられて新物語師として日清戰爭以來讀み續け來れる京山恭爲は御大典中京城に巡業し來り四日初日にて浪花館に開演したるが同人の朝鮮入は今回が初めてなれば特に熱心に演ずるなるべく又モタレの若手は關西の大看板ごころの物眞似には自信ある何んでも演つてのけると言へり初日の語り物左の如し

△笹井玄蕃（京山扮恭）△水戸黄門記（吉田若松）△楠大尉、北海奇聞雪夜物語（恭爲）

△壽館 女與右衛門の四日の語り物は孝女お絹、不破數右衛門なり

△御成座 五日の替は薩族と力士、禁酒

△瓢館 の新寫眞 川端館は三日より第四回全部を差替へ泰西の人情活劇『金色蝶』新派悲劇『波木立』其他滑稽物等なり

宗教界消息

◎妙心寺提唱 五日午前十時より無盡燈論提唱あり臨済國老

◎救世軍の集會 五日（日曜）午後七時半永樂町二丁目通營内『山室軍平論』石崎大尉

◎京城基督教會（南米倉町）午前十時朝拜『罪の但と神の愛』山本牧師午後七時夕拜『三の生命』同牧師

◎長谷川町日本基督教會 ▲同日午前十時井口牧師 ▲新築の宗教 同日午後七時同牧師

◎仁川メソジストの說教 仁川メソジスト教會にては五日午前十時禮拜說教を行ひ午前『罪の償』夜間『復生の能力』と題し鵜川牧師

防寒具は無用

調法な人間の皮膚

…得られないものであらうか、醫學上ではチヤンと其の解決がついて居るのだ、曰く人體は寒暑共に自然と抵抗し…

▲體温の發散を防ぐ …赤道直下でも氷點下でも生存は確保されて居るのである、とすると冬の…の方が効果多く且つ唯一の健康法である、即ち冷水摩擦を行るも可、體温を高むべき食物を攝取するも亦大いに…

▲脂肪分の豐富な物 秋刀魚、鰯、鰻、鮨などの類は即ち程人體を温めるのである豚肉、牛肉…運動をしたり、職業に一生懸命になつたりすることを必須條件としなければならぬ…られぬのではない自動作用の點では冷水摩擦が遙に効果が多い、だから酒は寒さに宜しいとは云はれない…

天氣 …は 晴れ ▲十二月五日（四日午後六時迄）

日出 七時卅一分 日入 五時十六分

福引景品附

歳暮大賣出し

十二月五日より卅一日迄

金壹圓毎に景品券一枚呈上 即時店内に於て景品と引換可申候 特等より八等迄全部空籤なし

景品は

特等 桐三つ重東京簞笥 貳本

壹等 紫檀机、東京簞笥貳本、花瓶 金張屏風一枚折、前桑茶棚

貳等 姿見鏡、二枚續毛布、明珍革服入鞄、宜德火鉢一對、蒲端、東京茶棚

參等 瓶掛火鉢、鏡臺、會席膳、毛布、旅行鞄、桐小簞笥、米二俵、長火鉢、重箱、吸物椀、碁石、ショール、衣桁 以上景品山の如し

京城本町一丁目 (H) 平田商店 電話六九五番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行

振替貯金口座京城三三三番 電話 一一〇、三三一、一二六〇、一六一一、六一二

支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春

右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

公示第一號

京城商業會議所設立ノ件本日朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ朝鮮商業會議所令第六條ニ依リ本會議所成立シタリ定款ノ要領左ノ如シ

一、地區 本會議所ノ地區ハ京城府ノ區域ニ依ル

二、會員 日本ノ臣民又ハ法人ニシテ本會議所ノ地區内ニ營業所又ハ事務所ヲ有シ京城府營業税年額十三圓以上ヲ納メ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ本會議所ノ會員トス但シ合名會社ニ在リテハ無限責任社員ノ半數以上合資會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ半數以上株式會社ニ在リテハ取締役ノ半數以上日本臣民タルコトヲ要ス

一、商法第二百六十三條、第二百六十四條第一號第三號乃至第六號又ハ第八號乃至第十二號ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコトヲ業トスル者

二、製造又ハ加工ニ關スル行爲ヲ爲スコトヲ業トスル者

三、左ノ各號ニ該當スル者ハ本會議所ノ會員タルコトヲ得ズ

一、家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル時ヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

二、六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

三、禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル時ヨリ其執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

三、選擧人ノ資格 本會議所ニ於テ大正四年十二月六日ヨリ十日迄五日間縱覽ニ供スル選擧人名簿ニ記載シタル會員ハ選擧人タル資格ヲ有セラル

四、被選擧人タル資格 法人又ハ年齡三十年以上ノ男子ニシテ六月以上引續キ會員タル資格ヲ有セラルル者但シ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員合資會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員日本臣民タルコトヲ要ス

大正四年十二月四日

京城商業會議所設立發起人

公示第二號

大正四年十二月施行スベキ本會議所評議員選擧ニ用フル選擧人名簿ハ選擧期日前九日ヲ期トシ其ノ日ヨリ五日間本會議所ニ於テ關係者ノ縱覽ニ供ス

同人名簿ハ選擧期日前一日ヲ以テ確定トス

大正四年十二月四日

京城商業會議所設立發起人

人間の皮膚は春夏秋冬に應じて、夏は汗とか脂肪とかを出して水分を早く體外へ排泄し冬は反對に皮膚が縮まつて、恰も冬の寒さに對して鷄の新羽のやうに之に耐へ得らるゝものであらうか、する次第である、防寒具は要らないといふのはチト極端かも知れぬが事實上外面から温めるよりは内からではなからうか食物は一般滋養分として含まれてゐる要素の含水炭素、脂肪分蛋白質の三つに分けられ其の中無暗矢鱈に脂肪分を取つたところで決してそれが悉く熱に變化するとは申されない右の食物を攝る一方に於て何らかといふとこれ外から温めるもの丶方に屬するので、幾分温めもし皮膚の自動作用をなす一助ともなる、風邪を引いた時は風邪ぐらゐと打ちやつて置けとの意味ではない

報　れ

[illegible]　彼岸　三月十八日　九月廿一日

◉滿洲の産業

滿鐵の産業試驗成績

滿鐵會社にては滿洲の産業發達及び改良の目的を以て公主嶺に産業試驗場を熊岳城に同分場を設け産業獎勵に爲し來れるが今同所の報告に基づく其の成績を略報せんに

▼大豆の改良增殖　公主嶺試驗場の農事部においては滿洲重要物産たる大豆、高粱、粟等の品種改良に努めつゝあるが就中大豆の品種改良には最も意を注ぎつゝありて設立以來二箇年間における試驗の成果によれば普通大豆は一反別一石二斗乃至三斗の收穫と認められしものが試驗場選出の優良品は一石六斗乃至七斗を得るに至り二割乃至三割の增收を獲る見込立ちたれば其の優良種に對して更に純系分離法に依り新品種の育成方法を講じたるに其の成績亦良好なるを以て今後少くも四五年間には滿洲大豆をして現在よりも數等優れたるものと爲すを得べく同時に耕作法の改良並に肥料の撰擇等に注意せば相待つて一層その品種を良くし收穫量の如きも三割以上となすこと敢て難事に非ざるが如し

▼甜菜其他新作物　在來種の改良增收を圖ると共に新作物の適否如何を研究するも同試驗の一目的にして之が爲め先づ最初に甜菜の種子を獨露兩國より採り本年は歐洲戰爭の爲め米國を通じて獨逸種子のみを取寄せ而して之が栽培を試みたる結果は一反歩につき七百貫乃至一千三百貫を得その糖分も平均十四パーセント乃至十五パーセントに達し含糖量において優に砂糖の原料たるに充分なるを認め得たるも之を用ひて製糖業を起し果して有利なるや否やは猶大に研究の餘地あるものと見做され居り次に亞麻の栽培も成績不良ならず本年の如き其の品種も頗る佳良となりたれば之を内地製麻場に送り精選を依頼せり其他尚ほ薄荷及び煙草の栽培適否をも試み居るなど種々に勵めつゝあり

▼羊の改良增殖　農事部と相對して畜産部の設あり此の畜産部にては在來種たる蒙古羊の改良增殖を計る爲め蒙古羊二百十頭の外メリノー種シュプルシア種サウスダウン種及蒙古種と外國種との雜種等と混飼し種々の方法を以て改良試驗をなしつゝあるが今日迄の成績によれば雜種の成育比較的良好にして其の毛質も漸次密度を增加し約一割以上の增となりたれば果して克く成功するを得るにおいては羊の價格は今日に比し一頭約二倍の高率となり毛量の增加よりして一頭の賣價は六倍乃至八倍の價格を唱ふるに至るべし牛其の他の畜産にも意を用ひつゝあるが羊の成績殊に其の雜種の成績斯くの如く良好なるを以て試驗場にては今回新たに米國より最優良なるランブヌリノー種三十四頭を購入し益々雜種の改良に盡くす事となれり

▼農事見習生養成　猶ほ附け加へて報じおきたきは同試驗場が滿洲各地において直接農事の改良發達に當るべき人材養成の目的を以て農事見習生を教養し居ることなるが其の見習生は目下十二名あり内地各府縣の甲種程度農業學校卒業生又は滿鐵沿線の公學堂及び日語學堂卒業生中より希望者を選抜入所せしめたるものにて講習期を二年と定め日支人混合にて實際的技術の修練に勵ませつゝあり滿洲今後の農業に稗益すること鮮少ならざるべし（大連）

◉大連埠頭堆貨

既に約十二萬噸に達す

例年の如く滿洲特産物出廻り季節に入りたる爲め去月より大豆其他の南下し來るもの漸次その數量を加へつゝあるが歐洲戰爭の關係にて東洋方面における船腹著しく減少せる折柄にもあり且つ當地の大豆相場が内地に比し十二三錢安に在りて商談捗々しからざる等の事情より南下大豆其他の堆貨は大連埠頭に早くも充滿せんとする状あり昨年末より本年一二月に懸け大連埠頭の堆貨巨量に達し一時その積置に窮したる始末なりしが本年は十一月二十八日迄に十一萬八千五百二十噸の堆貨を現出し昨年同期よりも一層巨大たれば今後特産其の他の南下增大と共に前年以上の堆貨を見るべき虞あり右につき埠頭事務所においては前年の苦き經驗に鑑み堆貨に對する諸種の設備をなし保管用として優に四五萬噸の貨物を收容し得べき二千五百坪の大倉庫を寺兒溝に新設し一方埋立地の利用に就いても夫々方法を講じつゝあれば本年は堆貨巨額に達するも其の收容に窮するが如き事なかるべきも其の處分は容易ならざるべく特産相場の上にも自然變調を來たすべきものと認めざる可らず尚ほ浦鹽港が中立國への輸出を禁止せる結果北滿大豆も勢ひ大連より搬出せざるを得ざる事となり是等も南滿線にて南下しつゝあればそれ丈け堆貨を增加し其量或は前年の三倍以上に達するやも知れず埠頭の混雜一方ならず（大連）

◉滿鐵客車改造

旅客賃金も改正すべし

滿鐵の客車は構造に改良を要する點あり目下沙河口工場において三等車及び二等車の改造中なるが一時に全部を改造し難きを以て今後兩三年に亙り漸次改良の實を擧ぐべく同時に旅客賃金の改正をも行ふ事となるべし實際滿鐵の旅客賃金は客車の割合に高率なるのみならず朝鮮鐵道其他と比較するも高率に失するを以て三等は暫く措き現在の一二等賃金は是非とも改良の必要あり之れも遠からず斷行せらるべし（大連）

◉忠北納稅貯蓄

適當の方法なるべし

忠淸北道に於る地税徵收は增税當初の年にも關はらず非常の好成績を擧げ得たる昨年は稀なる豐作なりしに引替へ本年は旱魃のため稻作反別も減じたる上尚平年作を出でず加ふるに米價依然として騰らざるに法定徵收期實施のため十二月末及び明年二月末の二期に分ち徵收することゝなりしため由來秋穫物を賣拂ひて一時に納税をなす以外何等納税の財源なき一般鮮人は第二期迄秋穫穀類を蓄積し置きよく納税の義務を果し得るやに付き道當局者は非常に懸念し既に十月中旬より納税方法諸施設に取掛りたる結果各郡面毎に面長管理の下に納税組合なるものを組織せしめ先づ今年度第一期分を徵收し第二期分として各會員より税額に相當する金額を組合に預けしめ組長は之を一纏めとなし銀行又は郵便貯金となして利殖を圖り置き期日に到らば直に引出して納税すべき一擧兩得の方法を講じ目下盛んに實行中の由尚今後も引續き可及的各會員には副業又は勞働を授け得たる金錢の一部を會に預け置かしめ年毎に徵税期に際し何等苦痛を感ぜしめずして納税せしめ得るならんとのことなるが一般鮮人に稍々納税觀念の進歩し來りたる今日適當の方法として著々實を擧げ好成績に進みつゝあり

◉米檢と全北米

群山米穀檢査所調査

米穀檢査所開始以來群山港に於ける輸移出米品質の向上と共に一般全北米の格上せられたることは既報せる如くなるが今回檢査所調査に係る數字統計に據る成績を示せば左の如し

▲檢査成績表（夾雜物含有率）

月日	日數	夾雜物含有平均	夾雜物含有減
自九月廿一日至九月廿三日	三日間	平均百分ノ七五	
自十月十四日至十月十六日	同	同百分ノ六九	減百分ノ〇六
自十一月一日至十一月三日	同	同百分ノ五九	同百分ノ一六
自十一月十二日至十一月十四日	同	同百分ノ五三	同百分ノ二三
自十一月二十日至十一月廿三日	同	同百分ノ五〇	同百分ノ二五

▲檢査開始後群山に於ける全北道米格上表

標準（新米日本種の中米在來種の上米）

月日	取引價額	臨設額	米價臨設前ノ對上額	品質向上ノ格上額
九月廿二日	八、七〇〇			
十月一日	九、三〇〇	、六〇	、二〇	、四〇
十月十日	九、六五〇	一、一五	、四五	、五〇
十月廿五日	一〇、二〇〇	一、五〇	、七五	、七五
十一月五日	一〇、三五〇	一、六五	、八〇	、八五
十一月十五日	一〇、〇〇〇	一、三〇	、四五	、八五
十一月廿二日	一〇、八〇〇	二、一〇	一、一〇	一、〇〇

▲檢査開始後大阪に於ける群山米格上表

月日	産地	大阪取引價	群山米との差格
九月廿二日	群山	九、五〇〇	
同	馬山	九、八〇〇	、三〇格上
同	釜山	九、五〇〇	同格
同	木浦	九、二〇〇	、三〇格落
同	仁川	九、一〇〇	、四〇格落
同	鎭南浦	八、七〇〇	、八〇格落
十一月五日	群山	一一、二〇〇	
同	馬山	一〇、九〇〇	、三〇格落
同	釜山	一〇、六〇〇	、六〇格落
同	木浦	一〇、五〇〇	、七〇格落
同	仁川	一〇、四〇〇	、八〇格落
同	鎭南浦	一〇、二〇〇	一、〇〇格落
十一月廿二日	群山	一一、五〇〇	
同	馬山	一一、〇〇〇	、五〇格落
同	釜山	一〇、七〇〇	、八〇格落
同	木浦	一〇、五〇〇	一、〇〇格落
同	仁川	一〇、四〇〇	一、一〇格落
同	鎭南浦	一〇、二〇〇	一、三〇格落

◉木浦先月貿易

十一月中の木浦港貿易は例年の如く棉花米穀の出廻時期なると年末仕入の爲め輸移出入共頗る旺盛を極めたり即ち輸移出品價格六十萬三千六百四十七圓輸移入品價額十五萬五千九百三十五圓計七十五萬九千五百八十二圓の巨額を示せり之を昨年同月の輸移出品價額三十萬五千九十二圓に比すれば二十九萬八千五十五圓の增加を示し輸移入品價格十四萬二百六十圓に比すれば又多少の增加ありたり輸移出の重なるものは言ふ迄もなく棉花にして昨年に比し價格昂騰せると出廻數量亦夥多なりし爲め斯く輸移出したる棉花價格は三十萬四千四百十八圓之を昨年の同月に比し廿三萬餘圓の激增を示したり次は米穀にして十六萬一千二百六十八圓昨年の十二萬五千八百二十三圓に比し約三萬五千圓を增加し其他の品目に於ても出入共多少の向上を示し居れり

◉公州火葬場改築

八百圓の豫算にて十一月初旬より起工せし公州衛生組合の經營に係る公州龍堂里火葬場は昨年の建設に成りしものを撤し去月下旬京城府生德太氏監督の下に休憩所九坪燒場六坪釜二坪計十五坪の竣工を見たるが其設備の堅牢にして完備せる今後公州市民の利便尠からざるべし

◉巡査補教習所卒業式　忠淸南道第九期巡査補卒業式は去る三十日同教習所に於て擧行せらる靑山警部開會を宣し警務部長代理鈴岡副官の式辭に次で靑山警部より生徒一同に對して訓示あり終りて卒業生總代として李淳鎬の答辭等ありて式を了したるが今回は合計十九名の卒業生なり

◉連絡船上陸客

三日午後釜山入港壹岐丸一二等客

一等なし

二等（十四名）宮本知道、平野雅吉、高門淸吉、朴泰憲、碧曜師、森振昇三、同たか、奥田龜吉、田良吉、同ひさ、同康子、同卓二、同順三、齋藤龍三　三等　八十二名

三日午前入港新羅丸

一等（七名）上林敬二郞、同きん、吉松龜郞、同靜子、同隆一、牧山公成、福田増兵衛

二等（三十名）川橋圭三郞、竹川國代、松本佐太郞、同榮可、前田舒雄、西野わか子、同榮子、山田龜太郞、中田せい、同銓、手島利貞、同ろま、川上蒼吉、高井友介、藤永文義、同ひろ子、同靜子、佐藤長三郞、和田佐一、吉米地金次郞、吉村つれ、佐伯さた、同裕、篠岡金、同透郞、同透郞、同部主計、北川甚太郞、吉田字吉、大野眞二　三等　二百名

商況

東京株式特電

四日より受渡開始
相場は寄付郵船東株弁瞬引東株瓦落
同市況沸騰

債券現物特電

東京　四日出來値段（前日との比較）
東洋拓殖　……
日韓瓦斯　……
朝鮮銀行　一四七、〇〇　……
南滿鐵道　……

公債直取引　東京電報

四日出來値段（前日との比較）
五分特別　……
九分四分　八八、六〇　……
一回四分　八一、〇〇　……
二回四分
甲五分

深川在米特電

四日現在高　朝鮮米　[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

▲四日前場　當限　中限　先限　寄付　[illegible]

朝鮮物産特電

變動なし

雜報

◉製粉の大活躍（内地）

製粉市況は其後海外輸出の好況と内地小麥の拂底より各社は愈々强固の態度を持續し竹鶴拂天の三印を通じ五錢高の中に十錢方の引上げを斷行するに内定し[illegible]

◉地方人氣俄然引締り

[illegible]

◉洋鐵又々突飛手

十五六圓高十二三圓乃至更に一躍二十圓方の大突飛

[illegible]

して同報に間違なきものとすれば元段二分二分五厘の百五十圓近かくさ前月初旬より約二倍牛の大暴騰となる譯なり

◉前月中の牛魚　京城

目下市場十一月中の生魚賣揚總量一萬三千二百四十九貫目總高一萬五千七百七十五圓にして個數入荷を地方別にすれば釜山六百六十九個群山九十九個仁川二百六十一個元山百八十八個馬山統營の三百九十二個を合せて千六百九個なるが之を前年同月の入荷數に比較せば僅かに百個の增加を示せるのみなり

◉出廻り漸く順調　漸次出盛らん模樣

一時出遲れと謂はれし新米の出穀も昨今漸く順調に出廻り此際年末さし納税期に近づき當局の徵税方法は本年は農家に對する手段を施しつゝあり[illegible]

◉白米小賣値上げ　更に五厘方引上

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　海岸町　三巴仲買店　電話長（三）二三（七三九）

下關相場

▲朝鮮白米も矢張高し　[illegible]

各地商況

○木浦（二日の穀物）[illegible]

京城正米

期米は前日一寸立直り模樣と見へし間もなく又々不勢に聞き大阪よりは今前場も續いて安歩調を辿りし仁川市場も前項の如く保合ひ氣乘薄の樣面を呈し正米又之と同事に内地筋の稍々辟き來り居れるにて昨來移出口は行き惱みつゝあるものゝ如く連れて朝來の正米市場は又々ボンヤリ氣味なり帶びつゝあり然しながら地廻りの穀物類に底意は極めて手堅きものあり

南大門の廻米

[illegible]

海岸町　吉行賓仲買店　電話長（四）二、九一二　[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

四日前場　三錢高の入電

[illegible]

十二錢さ安移

大阪四節四

[illegible]

市場零聞

前場の商戰

[illegible]

前場動かず

[illegible]

八錢さ跳れ

一般氣乘り薄

期米前途觀

[illegible]

田中金兵衛　電話三六一　一五二八

寧ろ先安の現象

[illegible]

十錢乃至正米約七八位に取引

元より局外者の知るところなるも今當業者の談を聞くに目下仁川に於ける正米の形勢は…しめなるか期米は正米より見て行はれざるに依り見當立たず中限に七八十錢切下で則ち先限も遅れて七八十錢切下値であるとの事にて兩者の點に感ずる者あり尤も期米は仕手の關係其他の事情等に[illegible]

不條理

换算時期

内地高は株其他の刺戟

受けて居り直に非

底意

仁川米豆取引所仲買人　海岸町　今村覺次郞　電話長三三七、六八（イマ）

仁川米豆取引所　大割安

[illegible]

四日の二月限

前場	
寄付	十一圓八十三錢
高値	十一圓八十五錢
安値	十一圓八十七錢
引	十一圓八十二錢
出來高	八千五百五十石

平均値段	買	賣	取組高
一節	十一圓八十四錢		
二節	十一圓八十三錢		
三節	十一圓八十二錢		
四節	十一圓八十四錢		
五節			

	買賣	取組高	前日比較
十二月限	一萬四千百石		三萬高
一月限	一萬九千百五十石		二萬高
二月限	一萬八千百五十石		三萬高

出來値	前日比較
一〇八〇	三高
一〇八三	二高
一〇八四	一高
一〇七八	四高

顧客本位正確神速　仁川米豆取引所仲買人　ビサンキ仲買店　電話五二三一三番

北濱だより

▲當株當期の配當　期末の十一月は意外に市場が殷賑したので一割三歩以上の配當も不可能でないといふ好成績を擧げ得たのであるが近く重役會が開かれて配當案を内決する筈であるが今季にても斯の如き好成績を擧げ得たのであるから次季は前期に比し五歩の配當は容易であるとしたならば昨今の時價も敢て割高でないのだから一般が買建をなからぬと同時に前途は前段の…

小賣白米

上白米 一升に付	十四錢五厘
次白米 同	十四錢
價 上白 五斗入	七圓十五錢
中白 五斗入	六圓八十錢

家庭の絕好讀物

德富蘆花著　自然と人生　定價…
身を自然の大化に投じて、[illegible]

德富蘆花著　靑山白雲　定價二十五錢
自然の美を學び、人情の奇を吸ふ[illegible]

德富蘆花著　不如歸　定價…
日本唯一の家庭小說にして、既に百三十九版を重ねたるにて其の眞價を知らるべし。[illegible]「浪子の嘆悲」「山科のステーション」[illegible]

德富蘆花著　靑蘆集　定價二十五錢
先生の文を讀む者、必ず一種の靈氣を感ず。[illegible]

馬場恒吾譯著　獨探日記　定價金五十錢
最近歐米の讀書界を風靡し、天下の大評判を博したる大奇書にして、[illegible]カイザーの爲め、[illegible]世界政局の秘密を忌憚なく暴露せる小說以上の好讀物也。

早川貞水講演　赤穗義士（全一冊）定價四十五錢
最も尊敬すべき資料を基とし、貞水獨得の快辯を以て、日本武士道の精華たる四十七士の面目を躍如たらしむるもの、平易通俗にして[illegible]各階級家庭の好讀物たるに適す。

伯知・如燕講演　御前講談　定價七十五錢
近世講談界の泰斗たる故松林伯圓、桃川如燕の二氏が、曾て畏くも先帝陛下の御前に於て口演したる加藤清正、楠正成、鳥居强右衛門、山內一豐の內室、[illegible]

山路愛山著　乃木大將　定價八十五錢
[illegible]大將の本領と眞面目とを遺憾なく發揮した[illegible]

村上浪六著　八軒長屋（全三冊）定價二圓五錢
是れ一種の人間學也。戀愛小說にあらず、探偵小說にあらず、[illegible]人間社會を描破せる者也。

大賣捌所　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話六六〇番
▲郵送料本社負擔▼

越後大評定

第六十三席　早川貞水口演

江戸表の軍議

此とき三代將軍家光公、御怒りを含ませ給ひ 將『今天下泰平なるに、此度越前家一門の身を以て、騷井に籠城いたし、天下に大亂を惹起さんとすること、甚だ以て憎むべき所業なり、早速大軍を出したることにて、越前騷井侯を一と破りに致さねば相成らぬ、其の方共意見あらば、遠慮なく申出でよ』と仰られると、一同平伏するする所、大老井伊直孝進み出でたることにて 直『恐れながら御上意御道理至極、越前家は親しき御一門と申し、殊に當時の御簾中勝姫君は、將軍家の姉君に左らせられるから、此度の御振舞、甚だ以て穩かならず、先達加藤、福島の兩家御取潰しに相成たるも天下の御利益なり、然るに今また御一門より、此の如きこと出來、世は益澆季と相成り、寒心の至りに耐へませぬ、此上は片時も速く武者配りあつて、御出陣の御用意然るべく存じ奉る』此時土井大炊頭利勝席を進み 土『アイヤ御大老の御仰せ道理には御坐れど、越前御家は千代丸殿、未だ御幼年に在します、御母君また御懦弱の御女性、たゞ憑むべきは附家老小栗美濃守なりと雖も、是また已むを得ざる事情の存することゝ存ずる、一應この上は御上使を御遣はし相成り、片時も早く開城を御勸め申し、それにても若しお肯き入れなきに於て、火急大軍を以て手詰の御決戰遊ばさるとも、決して遲き事には是なくと存じ奉る』之をお聽き遊ばしたる大御所秀忠公 秀『只今土井大炊頭の申する所も道理至極にして、穩當の取り扱ひなり、將軍家も大炊の說に委せらるべし』と仰せられましたから、三代將軍も是非なく 將『然らば一應大炊頭の申する通り、取計らつて宜からう』茲に愈御上使御差遣となつて、さて何者を遣はすべきと云ふ時に、上州高崎五萬石、安藤對馬守正次の嫡男右京進を御選びになりました、此者弱年なれども、邦々の伎倆人、右『委細畏み奉る』と、是より供方の用意を致し、越前騷井へ乘込んで來る、騷井城内外の堅めは、流石大阪の戰ひにて、手配を心得たる人々なれば孰れも用意嚴重、將軍の御上使なればこそ通行は出來るが、他の者なれば一寸も踏入ることの能はざるやうに嚴重、固より右京進も豫て其邊は承知で御坐いますから、注意に注意を加へて御城下の萬昌寺に到着、翌日上使として乘込む、仙千代丸君老臣に守護されて、御上使を御出迎へに、上使安藤右京進、泰然と控へる、廣間上段の席に御案内いたしたる時、仙千代丸殿下つて御控へになり、老臣いづれも其後に附添ふ、尤も仙千代丸殿御幼年なるが故に、荻田主馬代つて 主『御上使には遠路のところ大儀に存し奉る、御上意の趣仰せ聽けられたく

十二月六日九星　舊十月三十日　辛未　本命八白　艮　成　先負

▲八白 いまく〜敷事有日新事見合東方は吉暗劍 ▲九紫 萬事滯山の日轉居旅行入門名弘め金件求職採用人寄合等皆吉 ▲一白 無茶な事多き日新事手控常の事は吉女子は行儀を守らるべし ▲二黑 不得心の事有日新事手控事は吉貸借の口入せぬがよし ▲三碧 不理屈の事有日新事手控事は吉又爭を防ぐべし ▲四緑 ▲五黄 頓狂な事有日 ▲六白 大儲有日 ▲七赤 力強き日

九星に付いて一日紙上十二月行事に在る如く十一月の甲子の日より九星は陽遁に戻ります 右御斷りの方へ（係り）

年末の贈答品には 實用向きの ちゞぬ銘仙 珍柄豊富 本舗 京城本町二丁目 ちゝぶや 電話八九〇番

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三番 十一月二日より新寫眞提供 ●實寫伊太利キャベ島の絶景●滑稽 ●パテー會社傑作天然色寫眞◎社會劇最後の謝罪（原名人非人）全五卷文明の明星 ◎新派大悲劇新橋情話全三卷 ◎舊劇伊達政宗全三卷六十八場

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七 天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 二十八場名門の落胤 盤の眺の色寫の呪詛より一轉戀人の大仇轍となり哀れ思わぬ人と月下波に漂ふ可憐の名妓鳴呼

龍光館 龍山停車場前 電話（龍山）四一番 十二月二日より全部差換 ●滿洲嵐雄 劇酒の罪全三卷 ●奈れり天活會社

浪花館 明治町 電話二六〇番 十二月四日より ◎新派讀の名人京山恭爲一行（大宇道行和登堂） △三國一曙者問答（京山爲春）△惡七兵衛景淸（京山若春）△國定忠次（京山福壽）△開化の魁（京山若春）△四年七日の苦心 △北海奇文雪夜物語 大江堀田助次郎 道廣以上長講三席（京山恭爲）

壽座 本町 電話五七八番 十二月一日より新寫眞取替へ △尾上松之助一座大車輪の活劇 舊劇『め組の喧嘩』 上中下 三卷 △新派劇『新夏木立』 上中下 三卷 △泰西活劇『豪勇』 上下 二卷

壽館 壽町 電話一五〇番 浪界の女傑女雲右衛門來る 十二月四日五日 藤沼圖太郎 声の里錦）佐賀の夜櫻つゞき（木山竹子）小田原騷動つゞき（立花吉任美代子）更科勇婦傳つゞき（女雲右衛門）不破数右衛門（女雲右衛門）義士討入り（魁勢）番外水戸黄門記つゞき（〇〇亭春月）▲入場料一等金三十錢二等金二十錢三等金十錢

御成座 一九一 電話 八十四回目替藝題 江見水蔭先生作 一番目 華族に力士 全冊 二番目 喜劇禁酒

次亞燐 世に知られた現代の最良滋養劑！ 肥る 血をます 力をます 健康長壽 賣捌各藥店に 本舗大阪

新酒賣出し 一升に付 一金拾八錢 上酒 一金參拾錢 各驛迄の運賃當店にて負擔可仕候 但樽代左の通申受候 一斗入六十錢 二斗入及四斗五升入は一圓 大邱北旭町 齋藤酒店 電話三四九番 振替八二六番

滋胃 田春丸 陰萎病並に神經衰弱に大効あり 一週間分金二十五錢 三週間分金七十五錢 東京銀座 岸田吟香

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液 今東京で大評判の白美の元素アレ性の人色黒き顏赤き顏日ヤケ白粉ヤケを防ぎ根本的色白の美人美男子となる（價廿錢）全國の藥店小間物店に販賣す 本舖 東京神田和泉橋際 松本藥店 關西代理店 大阪東區博勞町五丁目 松井號本店

十二月

消化と毒けし 仁丹

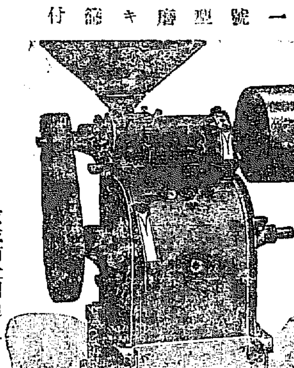
特に仁丹離されぬ

■劇務の時 ■煤掃の時 ■餅搗の時 ■勉強の時 ■外出の時 ■旅行の時

仁丹を欠かさず御活用遊ばせ

仁丹 藥價 廿五錢 五拾錢 壹圓

金言 富を致すの秘訣は、當初一萬兩を積むに在り（アスター）



第一號型磨キ篩付

米國製最新式 エンゲルバルグ摩擦精米機 本機に六型あり

今回新式中型第七號第八號型を製作し入れり本機の精白は高大型第一號型と大差なし

直輸入元 京城南大門通五丁目十九番地 會我商店出張所 電話一六八番

營業科目 エンゲルバルグ摩擦精米機各型 最新式研磨機各型 精米機製造 粉碎製粉機 穀用挽割機 肥料兼用粉碎機 粉挽機 馬力發動機 鐵道形蒸氣機關 高壓式石油機關 諸排水用喞筒 其他諸機械並附屬品各種 精米研磨油 機械各種（說明書郵呈）

目錄送呈 ◎完全無比實用經濟の 覇王グラス萬年筆 米國パアレット會社製 異正十四金ペン先付 最新インキ止式 ◎諸官衙銀行會社其他團體にて多數御購買の向へは特に割引仕候 ◎朝鮮總代理店 京城本町二丁目（電話四五番）振替京城二五六番 釘本藤次郎本店

懷中要藥

清心丹は旅行携帶藥として缺ぐ可からざる良藥にして汽車汽船のゑひを快よくすること妙

清心丹は高尚なる芳香を含み口中熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効あるを以て雄辯家其他交際場裡に必携劑也

清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし

清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ

清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙

清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり

清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙碎用て大に豫防す

清心丹は人魚の商標高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求を乞ふ

清心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）卅錢十五錢（鐵入）廿錢（紙包）の七種あり

清心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大阪町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

◎訂誤 十二月三日發行京城日報朝刊第三面前田壯次廣告中「亡父結造」とあるは「亡父統造」の誤植に付訂正す

父白壁永太郎儀病氣の爲め本日午前十一時死去致候間此段生前辱知諸彥に謹告候也 追て明後五日午後三時龍山法華宗興閑寺にて假葬營み本葬は郷里にて營み申候 大正四年十二月三日 龍山元町一丁目 男 白壁淑男 弟 白壁傑次郎

弊舍具葛儀整頓罷在り斯業に經驗深き者專ら業に當り如何なる御儀式にも決して差閊無之候 京城大和町一丁目（總監部通）大和葬儀舍 電話二四三八番

本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候 株式會社 京城葬儀社 旭町二丁目（名古屋城下）電一五六七番 靈柩馬車の設備有之候 二川屋事 中河原重吉 井上芳太郎 電話九五七番

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發行仕候 ○外航所屬航路（臺灣航路を除く）間連絡の際は五分引を以て連絡切符發賣仕候

宮嶋丸 十二月四日 / 漢城丸 十二月七日午後五時出帆 / 油頭丸 十二月十一日（木浦、釜山、長崎行 ▲は蘆原浦に寄港）

群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 安東丸 十二月九日 午後二時出帆 / ▲天智丸 十二月五日

鎮南浦、大連行 安東丸 十二月五日 / 天智丸 十二月十三日 午後二時出帆

木浦神戸大阪行 潮州丸 十二月 日 午後五時出帆

群山、釜山、横濱行 千珠丸 十二月十九日 / チヨイサン丸 十二月八日 午後四時出帆

大連直行 ▲は城津西湖津に寄港 浦汐不寄港 地久丸 十二月十八日 / 宮丸 / 大智丸 十二月十四日 午後三時出帆

清津、浦潮行（元山出帆）千珠丸 十二月十四日 / チヨイサン丸 十二月 日 正午出帆

上海、基隆、打狗行（大連出帆）基隆丸 十二月四日 / 高雄丸 十二月十七日 午前十時出帆

御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ○乘船客は本船出帆約一時間前に乘船を請ふ ○×印は一等客御斷り △印は船客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 五五〇番

京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 吉丸 十二月 日後四時出帆 / 君が代丸 十二月 日後四時出帆 / 神代丸 十二月 日後四時出帆 / 大有丸 十二月五日後四時出帆

第二太湖丸 / 群山、大阪行 土海丸 十二月 日後五時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十二月十四日後五時出帆

○元山城津浦鹽行 小倉丸 十二月 日後十時出帆

○門司、神戸、大阪行 立神丸 十二月 日後五時出帆

○元山、淸津、浦鹽行 立神丸 十二月九日後十時出帆

○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行 第三翠平丸 十二月 日後九時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行 第三翠平丸 十二月 日後六時出帆

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆

京城取扱店 大池回漕部

共同汽船仁川出帆

第二共同丸 芝罘、大連行 十二月三日 日後二時入 / 十二月五日 日前九時出帆

第一阪鶴丸 西湖津、城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）十二月 日

第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 十二月四日 日

仁川代理店 山下回漕部 / 阪國共同汽船株式會社 / 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船仁川出帆

京城府本町 松原運送店

全羅丸 十二月十四日 / 京畿丸 十二月四日 / 黄海丸 十二月八日 / 成鏡丸 十二月十八日 釜山着

稀城丸 十二月九日 / 昌平丸 十二月 日 / 鏡城丸 十二月五日 元山着

平壤丸 十二月十三日 / 忠清丸 十二月五日 元山着

永興丸 毎月廿八回 元山着

嘉島丸 十二月四日 釜山着

江陵丸 / 襄陽丸 毎日 釜山着

三浦丸 十二月 四日 釜山着

海州丸 / 巨濟丸 / 統營丸 / 晋州丸 毎日 釜山着

順天丸 三日目每 木浦着

慶興丸 十二月七日 木浦着

公州丸 十二月 日 木浦着

宗信丸 十二月 日 仁川着

江原丸 十二月七日 仁川着

麗水丸 / 晋州丸 十二月六日 仁川着

全州丸 / 南陽丸 毎日午前 仁川着

平安丸 十二月十九日 群山着

日本郵船仁川出帆

○大連秦皇島行 高砂丸 十二月十八日 正午出帆 / 三河丸 十二月十一日 正午出帆

○大連、太沽行 相模丸 十一月廿七日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十番 堀回漕部

京城日報

五日朝刊
（第二千九百六十三號）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ケ月金七拾錢　郵税一ケ月金拾五錢
廣告料　五號活字一行金七拾錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　樋口欽太郎
發行所　京城太平町一丁目　合資會社京城日報社
電話　編輯局三四五番　營業局三三六番
振替貯金口座京城三〇〇番

財界時言（十二月四日）

經濟勢力の北進

○滿蒙の地が帝國の勢力範圍地たるは、既定の事實なれど、日支新條約によりて、此の事實は成文となり、支那をして我が既得の權利を承認せしむるに至れり。即ち南滿洲及び内蒙古の地、到る處に吾人は營業居住の自由を有し、又南滿に在りては、商租の名を以て完全に土地を所有するの權利を得たるのみならず、同時に鐵道及び鑛山等幾多の利權を獲得するに至れり。されば今日にては、帝國の是等の地方に對する地位は、頗る優越となり、之を經濟上より見る時は、殆ど關東州租借地と大差なく、全くわが一大植民地たるに至れり。

○今滿蒙の地を以て支那の其他の部分に對する我邦の地位と較ぶれば、其間に非常なる差異あり、而かも之に止まらず、支那の各地に於ける幾多の吾が居留地は、支那に對する商工業の立脚地として大なる價値を有すとは雖も、未だ吾が民族の移住發展を試むべき殖民地たる能はざるや論なし。彼の福建省の如きは、夙に我が勢力範圍たるに至りしものなれど、實は臺灣に對する自衛上他國をして據らしめざらむ爲め、單に不割讓の約を爲さしめたるに過ぎず。帝國の支那に對する經濟政策としては、滿蒙に對すると、其の以外の地に對するとは、自ら其趣を異にすべきは勿論なり。

○即ち滿蒙に對しては、啻に我が商工業上の利益を增進せしむるに止まらず、進んで土地の開發を計り、産業の勃興を促がし、更に邦人の大移殖を企て、以て帝國大陸政策の實現を企圖せざる可らず。帝國の人口は年々六十萬を增殖するも、國内殆ど未耕の地なく、此の過剩の人口を如何に處置するやは、實に政治家の最も考ふべき所なり。露西亞が年々七十萬内外の移民を西伯利亞に送りつゝある事實に鑑み、吾人は帝國の大陸政策は必ずや滿蒙に多數の移民を送り、此の地方に大小幾多の都市を建設し、我が勢力の確立と同時に北方民族の膨脹に備ふるを目的とせざる可らざる也。之れ帝國存立の一大要件にして、滿蒙に對する經濟政策が、支那の他の地方に對すると本義を異にする所以也。

朝鮮水産組合

主要事業と其實蹟

朝鮮水産組合は其組織の變更以來組合員の増加と共に益々其事業を擴張しつゝあり今昨年度中に於ける組合の主要事業並に其成績を見るに

▲漁況調査及び漁業試驗　組合設備の巡邏船を以て斷えず朝鮮沿海に於ける漁況を調査し敏活に各地に報道して漁業者の便に供し、漁業の改良獎勵の爲め咸南、全南、全北、忠南、平北の各道支部をして管轄道廳と連絡を通じ延繩、流網、鮟鱇網等の漁法を傳習し又は漁具の配付を行へり

▲病傷及び遭難者の救助　組合本部各支部出張所に專務又は囑託醫師を置きて漁業者の病傷を施療し、支部出張所々在地以外の地は巡邏船に依りて各地を巡回し、病傷者の診斷施療に從事せしむ、昨年度中の施療患者は八千百十三人に達せり又遭難救助は組合規則に依り組合員にして疾病水難其他の原因に依りて死亡し或は遭難の爲め行衞不明となり、若くは漁船漁具を失ひたるもの等に對して救濟資金を附與す、昨年中に於ける救濟人員三百六十二人を算せり

▲屆出代辨及び免除證明　組合員のため漁業の出願、屆出を代辨す、其件數約四千件、又關稅法規に依り漁業者に關稅免除に關する證明書を交付せる件數三千五百餘件にして法規を解せず官廳に對する願出の手續に不案内なる漁業者は之を以て多大の利便を爲せり

▲漁業上の紛議調停　近時漁業の發展と共に漁業者間に於て相互の利害衝突の爲め紛議を生ずること尠からず、漁業者は之が裁判を本組合に依賴し來るを以て組合に於ては相互の中立及び實地の調査を爲し、之が仲裁調停を試み圓滿に解決するの方法を採れり、昨年中に於ける調停件數は内地人三十九件、内鮮人關係四十五件、鮮人四十八件、計百三十二件に達せり

▲漁業根據地の設備　漁業根據地の設備として最も急を要するは飲料水の供給なり、然るに之等の土地に在りては多く天水を利用し衛生上危害尠からざるを以て組合は自ら土地を買收して飲料水井戸を掘鑿し又は地方漁業者の設備に對して補助金を交付す、昨年度中に於て掘鑿せる井戸八箇所にして、經費補助額百五圓也

▲漁村經營及び根據地貸附　慶尙南道昌原郡鎭海及び巨濟郡松眞浦の二個所に半農半漁の移住漁村を經營し内地各府縣に聯絡を取りて内地漁業者の移住を奬勵せり、現在に於ける移住戸數は鎭海漁村は大阪府、三重縣、德島縣、福岡縣各五戸、愛媛縣七戸、島根縣十戸、計三十七戸、松眞浦漁村は廣島縣十一戸、山口縣、兵庫縣各六戸、香川縣二戸、富山縣熊本縣各一戸、計二十七戸にして移住者は熱心漁業に從事し其成績佳良なるを以て漸次移住者增加の見込なり、又漁業根據地に於ては漁業者の利便を計り組合に於て土地を買收し或は國有地の貸付を受けて之を漁業者の團體又は個人に貸與せり、其貸付個所數十五箇所、此坪數六千八百十七坪五合なり

以上の外組合員の善行者表彰、郵便物の取扱、不正漁業者檢擧、補助等各種の業務に從事せり

獨逸の成功と失敗

巴爾幹戰が天下の分目

戰爭も漸く終局近きか

今や全歐の戰亂は其の第三期に入りたるもの、如く第一期に於て獨逸は其の主要策戰の如く一氣に佛國に痛擊を與へしと雖も遂に擊退せられて白佛國境方面に退き聯合軍の進擊を阻止するに留り兩軍敢て戰線の大發展を見ず第二期に於ても獨逸は主要策戰に基き露國に痛擊を與へんとし獨墺軍は波蘭に殺到しウイルナを屠りワルソーを陷落し破竹の勢を以てリガに殺到して露都を脅かさんとせしもワルソー戰に於て目的通り露軍の主力を二分せしと雖も退却に巧なる露軍の最主力は露都、ウイルナの鐵道線に沿ひドウインスク方面の退却に成功し主力より分れたる一部はモスカウ、ワルソウ鐵道線に沿うてピンスク方面に退却し主力を以て軍の右翼に合せしめ以て獨軍の露都進擊に備へ多少の主力を分けて南方黑海方面の獨軍進擊に備へ其の間武器の完全に努めドウインスク方面に於ける露軍の一部は一時包圍に陷り危機に瀕したりしも巧みに退却し却つて獨軍は續て强襲痛擊に過ひ現下兩軍の戰線は北方はリガ附近よりドウインスク附近、ブレスト、ハリトスクに通じ更にピンスクよりガリシヤに接近してロブールスキー、ダムノよりガリシヤに入り露墺國境のドニエステル河畔に到る迄の戰線は恰も羅馬字の3の字3形を示し上部の獨軍凸出の中心はドウインスクにして下部獨軍凸出の中心はピンスク方面なり全線直徑五百五十哩彎曲部を換算する時は全線實に八百三十哩、此大戰線に於ける露軍の兵力百五十萬に對しリガよりピンスクに到る約五百哩線に獨軍百五十萬ピンスク南方よりタルノポール西部に到る三百餘哩の間に墺軍百萬の配置ある者ゝ如し　されば第一、第二期即ち獨の討佛、討露の策戰は戰爭に於ては勝利を收めたるものあるもの、如きも其の結果に於ては獨逸の最初の主要策戰の成功せざりし事は實際に於て明かなるのみならず東部戰線に於て露軍の進擊を收めつゝあるは亦た之れを證するに足るべし而して尙ほ獨逸が墺軍と共にドニエステル河畔に沿うて南方露西亞を席捲し黑海に出で羅馬尼と露國との連絡を斷ち併せて君府を救はんとせし方寸も亦失敗せしが彼の破竹の如き進擊と惡辣なる外交とが遂に巴爾幹に於て成功し勃牙利を味方に引き入れ羅馬尼及び希臘を押へて敵に乘せしめざるは唯之れ獨逸の外交策戰の大成功と云はざるべからずされば獨逸が今や東、西戰線に重きをなさず主として防戰に努めし一方巴爾幹に於て一氣に聯合軍と雌雄を決せんとするは當然の事にして英、佛、露に對する副策戰とも見るを得べしされば英軍は夕映攻擊軍の一部を割ぎ伊軍亦之れに加はり露國三十五萬の大兵を以て勃牙利を背後より突かんとし居れば巴爾幹に於て有史以來の大合戰あるは機既に熟せしものゝ如く此の際羅、希にして依然中立を嚴守する時は協商國側に不利にして獨、墺、土、勃軍に有利なるは明かなりとすると同時に此の大戰に依つて第三期戰を終り愈々戰爭も漸く終局に近づきつゝあるもの、如き感あり殊に各交戰國の内部を見る時は益々其の感を强からしむるに足るもの多し

新支那漫言

布施知足

一

大典僅かに終らんとするに臨み突如として米國電報が傳へたる協商三國の支那誘引運動は暫く盛儀に熱して他を顧るに暇無かりし邦人の耳目を聳てしめたり、元來支那同盟の說次で傳はるに至りて世間は更に駭目せり結局同盟說が單に浮說に止まりしは今や漸く明らかと成れりと雖も三國の誘引運動は猶定まる所なく却て帝政問題と相結びて事態更に紛糾を加へんとするに似たり所謂此運動の眞意として傳へらるゝ所に據れば之れ唯支那を誘ひて協商側に與せしめ以て獨逸人が支那に於ける陰謀を根絕せんとするに出づと云ふ思ふに然らん然れども吾等は此種の運動が唯其表面に現はれたる理由のみを以て行はるゝと信ずる能はず裏面には此他猶ほ幾多の曲折あらん兎もあれ支那は此運動に因りて今次の戰爭と結ばんとす、支那を惹いて戰爭に入らしむるの可否は自づから論あらん問題は寧ろ支那の位地を認めて斯の如きものと爲すや否やに在り知らず氣運は遂に支那を引いて儼然たる所謂國際團に加はらしむるに至れりや世界は遂に支那を一の勢力として認むるを欲するや吾等は此問題の考ふべき眞の意味は寧ろ茲に在るを思ふ而して吾邦殊に支那自からが愼重に考慮せざるべからざるは偏に此點に存するを思はずはあらず夫れ今の世は所謂强國が相黨して以て萬事を其相議の間に決せんとする世なり其議に與かるものは所謂一等國のみ弱國は言ふも更なり其實力以て一等國の班に入るに足ると認められたるものに非ざるよりは未だ容易に其の議に與るを得ざるなり是に於てか方今各國民の努力は早く一等國に伍して遜色なき實力を養ふに在り國家の努力は斯然る實力を列國に認めしむるに在りて存す邦人が最近五十年の努力は悉くにして其の實力を發揮し二十七八年三十七八年の兩役は終に一等國としての認識を世界に得たり支那は何如其文化は恐らくは未だ以て一等國の班に列するを得ざらん然れども其國土の大と民衆の多きとを以て世界に寄與することまた寡しとなさずこれ以て未だ所謂國際國の伍に上るに足らざるか細論は姑く舍く支那國民の自矜心より觀て彼等が夙に斯の如き希望を懷けりしは推測に難からず、而して最初の機會は今や此誘引問題に端を發して彼等の顏前に來れるより吾等は日支兩國民が今次の問題を考ふるに際し先づ明白に此意味を看取せん事を欲す問題の歸する所は單に協商國の爲に支那に於ける敵人が根據を覆へすや否やに存するにあらずして實に支那の爲に國際上一新位地を得るや否やに在りて存すればなり

京日詩壇

圓山牧雲

○喫冰　成田魯石
炎熱銷金石。淋漓汗離乾。瓊冰銀盞盛。未嚼眼先寒。一塊露五體。方知天地寬。盧室如淸爽。庭竹動琅玕。不唯吟詠好。習定與方闌。偏喜與勞絕。人爲瑞物看。
評曰。前半鋪敘簡明。形容精練。結二句有味外之味

○同上　高田小芥
此身恰似釜中魚。起剪前栽風尙疎。偶有隣翁冰塊贈。嚼來自擬太夫居。
評曰。三四言情大可。然推承句七字之淸警

○同上　西田明松
鐵手伐來如雪冰。風簷招我麗紅燈。卷涼南北東西客。不識爐頭寒氣凝。
評曰。淸麗。但怕寒氣凝處情熱之至

○同上　安永春雨
赫赫雲峰聳四郊。復無涼氣動林梢。瓊冰一喫忘炎熱。不用杯盤盛酒肴。
評曰　避暑之實況

○同上　江原如水
冰買到門兒喜迎。滿室憂憂冷牙聲。山妻獨恐傷陶齒。枉削六花砌皿盛。
評曰　眞是奇想、未經人道、

○同上
無復簷陰一掬涼。炎威入夜尙侵牀。淸冰嚼得源神骨。冷却人間苦熱腸。
評曰　一讀忘炎熱

日報俳壇

雉子郎選

秋雑詠

秋の川邊にはからす牛圓か　盧中子
讀終へし書を繰りて見る秋夕日　同
川に臨む高塀の家や柿紅葉　同
鼻汁を手でこする子やそゞろ寒　同

南漢山行

こけし碑に唐辛子赤う干しけり　同
罷拜に仕へて蕎麥食ふ子かな　容堂
沙道を歩み疲れて黍の蔭　同
土俵の灯池にゆらぐや秋社　同
輕氣球見遊せば秋の雲動く　同
飲に眠る獅子こらへし毛見の前　韮城
若干は案山子にやりし落穗哉　同
柚味噌燒く間もなしと諭ひけり　同
穀倉の屋根葺替へぬ落し水　同
病む眼に針の目痛し鷄頭花　康知
深き谷に住む家あるらし女郎花　同
草の實に牛迫り來兒泣きぬ　同
干柿に西日赤々と家廣し　羊兒

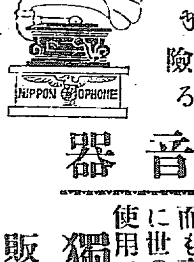
共進會會場

舘を出て惰眼遊ぶダリヤ哉　同
末枯の野に出て雲を怖れけり　東村
秋蚊帳や病養ひつゝも病む　同
夜學子の待ち合ひ歸る町淋し　三餘
秋雨や畜のまゝに姿む花　同
過聲を傳ふ烽火や天の川　邱曄
一軒や芙蓉の庭の窓灯　同
服藥に馴れて我子や野菊摘む　菊坡
猿酒や風に摺れ鳴る雑木山　未知男
假橋の焚火や石に露流る　雄川

■冬の句を募る。京城明治町二丁目五番地、菅井東村宛投句の事。

四日の一月限

▲後場下押す　九十八錢より八十九錢引先十圓八十七錢と二錢高に寄付たるも大阪三節四十一錢さ安移り買物多く五十八九錢と押したるが大阪四節三十五錢



百萬圓の大會社が廿ヶ年の保險を附ける

鷲印蓄音器

來れ!!蓄音器のシーズン!!!

寒い冷たい冬籠りの娯樂には？

唯壹臺の蓄音器にて一家團欒和氣靄々!!

家庭の娯樂には云ふ迄もなく兒童教育に、聲樂研究に、宗教傳導に、商家の廣告に、有らゆる方面に賞用さるゝ

鷲印蓄音器の体裁優美而も高尚にして堅牢無比、音聲の鮮明なること既に世の定評ある處殊に音譜の五百回以上の使用に堪ゆるものは東洋に於て獨り吾が鷲印あるのみ

販賣元　京城本町二丁目二十九番地　株式會社日本蓄音器商會　電話一二八三番・振替口座京城六八番

太陽增刊　御大禮記念

▼愈よ出來　金卅五錢　郵税三錢（本號に限り）

東京本町　博文館　振替東京二四〇番

周到なる注意を拂つて謹輯せる

御大典の記念的代表寶典

寫眞四十餘頁

大嘗宮全景と三殿（二頁大）
▲御大典行幸御道筋（四頁）
▲東京御發輦奉送（二頁大）
▲紫宸殿内部の壯觀と春興殿
▲大嘗宮外門と頓宮御門
聖壽萬歲（原色版二頁大）
高御座（原色版）
聖上陛下（二色版）
皇后陛下（二色版）
▲皇室の御繁榮と大禮使總裁宮
▲二條離宮内大饗宴場と舞樂殿
▲御親謁の神宮と御陵
▲東帶姿の首相夫妻と各大臣
紫宸殿即位の御儀（二頁）

本文百六十頁

御即位禮
大嘗祭
紫宸殿
謹んで
大典に際して

大景品附

例年の通り

十二月五日より卅一日まで

歳暮大賣出し

御贈答品は　何くれとなく取揃へ置き候間御裁宜しく調進可仕候

商品切手は　美麗なる桐箱入れにて至極御便利に御座候

景品券は　御買上金壹圓毎に一枚宛呈上

景品は　即時御引換へ空籤なし

提供景品の主なる物は店頭に陳列しあり

京城　辻屋

○獨軍人戰後の日本を論ず

有名なる獨逸海軍專門家ペルシウス大佐はベルリーネル、ターゲブラツト新聞に寄書して曰く、日本は膠州灣を以て滿足せざる可く延いて露國と同盟を締結し以て戰爭終結後は東洋に於ける覇權を握る可く從つて日米戰爭となり英國も參加す可しと（倫敦特電）

○減債基金還元決定說
補充方法は兵器賣却代を差繰る

確かなる方面よりの消息に依れば三日の閣議に於て減債基金還元の協議纏り減債の二千萬圓に削減額三千萬圓を增加し元々通り五千萬圓とするに決定したるが右三千萬圓の補充方法に就ては法律の改正による追加豫算の形式を取るか或は內地募債に據るか何れにしても內閣としては甚だ困難なる問題なるが右何れの方法にも據らず陸軍省所管中の兵器賣却代金を差し繰り支出することに決定したりと云ふ（東京特電）

○在鄕軍人會總會
伏見宮殿下台臨令旨を賜ふ

帝國在鄕軍人會にては御大禮大觀兵式の爲め全國同會支部長同分會長等一萬一千三百餘名の上京を機とし三日午後二時より九段靖國神社境內に於て第一回總會を開會せり右に就き奧、井上、長谷川、川村各元帥、加藤海相、一木內相、寺內會長其他の陸海軍將官數百名並に會員一同參著するや總裁伏見元帥宮殿下には高須御附武官を隨へ諸官の奉迎の裡に御著場式場に台臨左の優渥なる令旨を賜はりたり

令旨

天皇陛下允文允武夙ニ軍事ニ軫念シ給フヤ深シ今回畏クモ本會々員ヲ親閲アリ特ニ優渥ナル勅語ヲ賜フ君恩ノ鴻大ナル聖旨ノ深遠ナル感激曷ソ勝ヘン惟フニ宇內ノ進運ハ在鄕軍人ノ責務ヲシテ倍々重大ナラシム各員精勵努力以テ國家ノ干城トナリ以テ國民ノ儀表トナリ其本分ヲ全ウシ誓テ聖旨ニ應ヘ奉ランコトヲ期セヨ

帝國在鄕軍人會總裁
大勳位功二級　貞愛親王

終つて會長寺內大將は左の訓示を朗讀せり

訓示

今回御即位の大典を行はせらるゝに方り本會大會を開くや　天皇陛下特に本會々員代表者を宮城に親謁せられ優渥なる勅語を賜ひ尙ほ御苑の拜觀を許し茶菓を賜ふ光榮何者か之に代へん客歲十一月在鄕軍人に勅語を賜ひ本會に內帑金を下賜せられ今又此の恩命を拜す君恩鴻大　聖旨の深遠なる感激恐懼措く處を知らず總裁宮殿下亦特に懇篤なる令旨を賜ひて　聖旨の存する所と吾人の嚮ふ可き處を示し給ふ誠感何ぞ勝へん惟ふに在鄕軍人は國軍の中堅にして國民の主力なり國家の治安國運の興隆懸りて吾人の双肩に在り在鄕軍人に殊遇を賜ふの　叡慮蓋し茲に存す本會會員たる者忠誠を抽んで一意　聖旨を奉戴し令旨に恪遵し海外諸國の實況に鑑み研鑽努力以て本會目的の遂行に奮勵し誓つて　聖旨に奉答せんことを期す可し

帝國在鄕軍人會々長
伯爵　寺內正毅

次いで陸海軍大臣並に帝國在鄕軍人後援會長大隈首相代理土屋大將一木內相の祝辭あり『君が代』の奏樂裡に寺內會長の發聲にて大元帥陛下の萬歲を三唱し次いで總裁宮殿下には諸官奉送中に御退場遊ばされ次いで會員は偕行社に參集し寺內會長の挨拶茶菓の饗應等あり田中參謀次長の講話ありて午後五時過散會せり

○獨武官召還要求（東京特電）

華盛頓來電に依れば國務省は非難すべき行動ありたりとの理由を以て獨逸大使館附海軍武官の召還を要求したり（紐育電報）

○記念章御下賜

畏き邊りにては今回御大禮大觀兵式に參列したる全國在鄕軍人に對し各師團長を通じて大禮記念章を下賜せらるゝ由漏れ承る（東京特電）

列强大戰

▲吉元帥の復職

英國首相アスキス氏は下院に於て述べて曰くキッチナー元帥は復職して陸軍省の事務を執り兼て軍事會議の一員として其の任に當るべしと（倫敦電報）

▲英軍の死傷者
三箇月に十二萬人

英國陸軍次官テナント氏は曰く最近三箇月間の英軍の死傷者は九萬五千名にして此の內には印度兵及び加奈太兵の死傷者をも含み居れり又ガリポリ半島に於ける濠洲兵死傷者は總數二萬五千名に達せりと（倫敦電報）

雜報

○朝鮮貴族祝詞

伯爵李完用氏は朝鮮貴族を代表して四日午前十時半總督府に山縣政務總監を訪問し皇子御誕生に就き祝詞を述べ同十一時退出せり

○佛國債換算率
應募者の有利條件

日佛銀行取扱に係る佛國五分利國防公債の拂込金は拂込當日の爲替率に依り換算する規定なりしが此際特に金一圓に付二法九十二參半の割合を以て受入るゝことに決定したる由此舉に依り換算すれば各爲替銀行に於ける率に比し應募者は額面百法に付二十五錢七厘餘の利益を得るの計算に當り好利廻の本債は一層有利なるに至れる譯なり此舉は日本全國に亙り十二月十五日まで佛國公債拂込金に限り適用せらるゝものゝ由

○徐氏辭表再提

辭職の意を有する國務卿徐世昌氏は大總統の慰留に依り其名目を賜暇と爲し出務せざりしが廿七日を以て其期滿ちたるに付き二十八日再び辭職書を提出せりと政府通の語る所に據れば大總統は不日氏の辭職を許し申令を以て之れを發表すべしと（北京）

○代行立法院存續

支那參政院が立法代行の機關として開設せられしは去る九月にして立法院組織規定によれば十二月に閉議すべきなれども附議中なる五年度豫算案を始とし猶政府より提出すべき議案多數なるを以て大總統の申令を十二月末の期滿に發し帝政問題解決まで約一箇月を延期するならんと（北京）

○來期の森林調査
鴨滿兩江流域の施業案編成區域

鴨綠江及び豆滿江兩流域に於ける營林廠所管の森林は十箇年計畫を以て要存豫定林野の調査及び施業案編成の調査を遂げ以て永久保存的森林經營の基礎を定むることゝし、大正二年度より之が調査を開始し、同年度に於ては鴨綠江の上流甲山郡の一部及び下流渭原郡、楚山郡に屬する森林を調査し、三年度に於ては豆滿江作業地全部の調査を遂げたり、而して四年度は鴨綠江流域甲山郡の一部及び豐山郡、長津郡、三水郡の一部並に下流江界郡の調査を了る豫定なるを以て明年度に於ては更に進むで平安北道渭原郡及び厚昌、慈城、江界各郡の一部を調査す可しと、今大正二年度以降の調査成績を擧ぐれば同年度に在りては要存豫定林野三十一萬九千六百五十四町步、施業案編成區域二十八萬五千七百十二町步大正三年度に在りては要存豫定林野四十五萬四千八百九十一町步、施業案編成區域二十一萬三千三百四十六町步を查了したるが、本年度に於ては要存豫定林野二十萬八千二百八十町步、施業案編成區域十萬三千町步を調査す可く又た明年度の調査面積は要存豫定林野十一萬六千九百二十町步、施業案編成區域五萬三千町步なりと

○貨幣統一と新銀

支那政府が現在使用しつゝある紙幣を回收して新に紙幣を發行し以て貨幣の統一を計る計畫は既報の通りなるが今又聞く所に依れば右發行權は之を中國銀行の手に委ね該行券を向ふ三箇年間に全國に流通せしめ五箇年を期して舊紙幣全部を回收する計畫なるが尙帝政實現に於て天津造幣廠に新帝國の一元銀貨を鑄造せしむ可く其表面には大中華帝國元年の七字を刻み裏面には五龍の爪を表すものとす可し而して最初十五萬元を發行し北京天津に使用し漸次銀塊の調達を待ちて各省に通用せしむべしと（北京）

○日本汽船設立

大阪市久原房之助氏同族にて久原鑛業、日露漁業會社等の物資輸送機關として日本汽船會社を設立することとなしたる由なるが資本金五百萬圓株數十萬株にて內五萬株は房之助氏二萬五千株田村市郞氏一萬株中山治太郞氏一萬株藤田文子殘り五千株は西村秀造及び久原家使用人に分配し一般公募せず又株式賣買を禁じて最初二百十五萬圓拂込をなして本社を函館西濱町に置き營業を開始すべく不日設立登記を了すべしと（大阪）

○最近鐵道運輸

朝鮮鐵道十一月中に於ける統計は左表の如くなるが從來客車收入を以て貨車收入の上位に在りしものが次第に其位置を轉じ貨車收入增加を見るに至れり是れ歐洲戰爭の影響により旅客減少せるに依らんも更に朝鮮各地方の產業漸次開發せられ從つて貨物輸送力を增加せるに基因するものにして鐵道としては頗る好況に進みつゝある譯なり其前年同期增減比較左の如し（△印減）

	本年十一月	前年同期比較
乘車人員	二七七、五四八人	△三〇、三八五人
小手荷物斤數	一、一三三、九二三斤	△一〇三、五九九斤
貨物噸數	一〇四、三〇五噸	三三、五六二噸
客車收入	四〇一、四三三圓	五、六二八圓
貨車收入	三三六、七二一圓	七九、五五三圓
運輸收入	七六八、一八四圓	八五、一七〇圓
一日一哩平均	三二圓四六錢	二圓五七錢

○農學校長會同

總督府にては六日より八日まで三日間朝鮮內農業學校長十五名を召集し總…

○布教屆出注意
期日は本年中也

布教に從事し又は布教の用に供する教會堂、講義所、說教所の類を設立したる者は布教規則施行の日より三箇月內に於て其れ〳〵規定の屆出を爲す可き筈なるに、右屆出期限も最早餘す所一箇月を出でざる今日に於て尙ほ屆出を爲さゞる者多數ある趣きなるが、萬一右の期間內に屆出を爲さゞる場合に於ては布教規則第十一條に該當する者は一月一日以後は布教者又は布教所として公認せられざることゝなり、種々の不便を來すのみならず教會堂其他の布教用建築に在りては同規則第九條に依りて新に許可を受くるを要することゝなる可く、結局種々の煩雜を來すこと尠少ならざるを以て當事者は此際急速屆出を爲す可しと

○新機關車運轉

曩に鐵道局より滿鐵沙河口工場へ注文中なりし機關車六輛の內既に三輛は出來しゐたりしが此程六輛の內殘り三輛竣成しタンク機關車五一〇號出來十二月一日より運轉使用せり

○補充憲兵來期

十一月三十日滿期となりし憲兵の補充として憲兵上等兵二百三十五名六日釜山上陸直ちに任地に向ふ筈

○露貨稍々持直

日滿聯絡貨物引換代金換算率十二月一日より邦貨百圓に付露貨百六十留の處同三日より百留に付六十八圓廿五錢を協定爲したり

○大阪の經濟界

最近諸物價の昂騰は著しく各方面に好況を齎らし軍需品に關する商品を始め生糸綿絲米穀並に諸株式等の市價は頻々として騰貴を重ね殊に株式市場の殷盛は實に去る四十年熱狂時期以後の好況を呈せり從て此等の方面に移動する資金は頃日來頓に小繁を呈し當月末決濟に際しては流石に手許の潤澤を喞たれつゝありし東西各銀行共夥しく資金の流出を告げコール稍々拂底し月越コール八厘乃至九厘に小緩り一流手形九厘半乃至一錢を告げ普通割引一錢三四厘に小堅く一兩月來閑散を持續せし月末金融も當月末は稍々小繁忙を現じたり兌換券發行高は中旬に於て三億三百萬圓に收縮し之を去月末に比し約四千萬圓を減縮したりしが下旬に入りて徐々に增發を告げ去る二十七日に於ける帳尻に於て三億三千萬圓に達せしを以て年末の增發恐らく二千萬圓以上を算すべく每月末累進的に膨脹を告げつゝあり即ち我財界は遂次に好況に展開し資金の需要漸次に增加せるを證せり近來東西組合銀行の預金額は著しく增殖し從つて金銀有高も亦增加を告げ金融は依然として緩慢を持續し金利は低步に保合ひ殊に金融に對しても甚しく緊縮の徵候なく越年コール九厘乃至一錢を呼び融通亦圓滑なり而して前叙の如く市況一般の繁榮は資金の移動を促進し殊に當地組合銀行の貸出は漸次增加の傾向を有せりと雖も供給亦潤澤にして餘りあり要するに貿易の出超は月を累ねて好況にして正貨の愈々增殖せる結果內地貨幣市場も之に伴うて潤澤を招來せる所以亦怪むに足らず蓋し最近諸物價の昂進せる亦此反影に外ならず（大阪）

○大阪製煉事業計畫

大阪の藤田組は今回蒲揚鐵礦亞鉛鑛の製煉事業計畫を立て大阪築港に假工場を建設し十二月中旬頃より試驗的に製煉に著手する筈にて試驗完了の際は大阪亞鉛鑛業の例に倣ひ資本金二百萬圓位の株式組織となすべき筈なりと（大阪）

○大典記念杯交附

調製中なりし御大禮奉祝宴會記念杯は已に出來したるを以て右引替券所持者は來る七日より十日迄の內に京城府內務係に申出らるべしと

○共進會と京城（七）
經濟界

又一方に於て開會中一般人氣の昂上、外來者中知己親戚への宿泊、諸興業物の催し等に依り、一般市民も亦其購買力を增進し、景氣の上進を助長せること極めて多し。次に開會中に於ける

▲京城の輸移入額を見るも、此亦異常の增進を示せり、即ち本年九、十兩月の輸移入額を前年同期の其れに對比する時は

	大正四年	大正三年	大正四年增
九月	一、四三三、一五四	一、〇八〇、三九一	三五二、七六三
十月	一、二三四、九九九	一、〇〇四、二九四	二三〇、七〇五
計	二、六六八、一五三	二、〇八四、六八五	五八三、四六八

にして開會兩月間の京城輸移入額は前年同期に比し五十八萬三千餘圓の增加にして、此の中主なるものは果實、罐詰、淸酒、麥酒等の食料品、綿布類、絹布、毛織物等の諸織物其他靴、履物、洋傘、小包郵便物等にして、是等の外從來久しく不景氣續きの爲め、賣行惡き在庫品も共に市場に表はれ、販出廉漾への盛況を呈したるもの少しとせず、斯くの如き好影響は金融界にも亦表現せられ、共進會の進むと共に、各方面よりの

▲預金漸次增加の傾向を示し、取立爲替の如き開會前よりは一層の圓滑を見るに至れり、尙結氷の時期も過ぎ、來春解氷の頃に至らば、此等の影響は漸次明白に表現せらるべき乎。

如上述べ來りたるところに依り共進會中京城市內に於ける貨物並に資金回轉情況の概略を知り、久しく沈靜に陷りたる市況復活情態の一班を窺ふことを得るに足るべし。此の秋に當り我が京城市民たる者、斷思熟慮して以て此の好影響を生產的に持續せしむるのみならず、進んで產業の開發を計るに努力せずんばあるべからざるなり。（終）

南言北語

命旦夕に迫つたモナスチールに頑張つて祖國の爲此地を死守すべしと主張して居た塞軍の守將バッチ大佐も遂に刀折れ矢盡きたのか勃軍に降伏した▲一方プリズレンの陷落と共に塞王ピーター一世は一騎從者をも伴れず降雪を突て露國公使と共に何處かへ走せ去た▲差して行衞は那邊の山か賴む木下雨もりて戎衣の袖や絞るらん語を近る敗殘の山河幾重老王七十將爐中の感や奈何▲茲に於て僅に祖國の一角を死守して居た塞軍も潰え去て全軍アルバニヤに退却し遂に塞國も悲慘な滅亡を告げた▲今度の大亂で之れで事實上白、塞二箇國が滅亡した譯だが最一とつ勝ても敗ても滅亡する國がある其れは土耳古だ▲最うチャーンと首都君府は勃牙利王に賣却の約束濟だとは聊か穩かざるを得ない▲而し此の君府放棄問題は彼の獨逸のゴルツ將軍が土の廢帝アブダル、ハミツトの時代に君府を放棄して亞細亞に行つて土耳古大帝國を建設しては何うかと進言した事があつた▲今度獨逸が勃牙利を戰禍に捲き込まうとした時矢張り此の手を利用して土帝に力說した▲土帝も浮かと其の手に乘つて愈々君府を勃牙利に賣却する事として▲ナジム、パシヤなどは猫額の一小地に蟠居するよりは小亞細亞に渉つて回教大帝國を建設すべく汝等祖國の爲に戰はんとせば小亞細亞にてなすべしなど訓示して居る▲此處で獨勃側が勝てば勃王フエルヂナントは堂々と君府に入城すべく協商側が勝てば露國のものにでもなるのだらうから何の道歐羅巴土耳古も之れでお陀佛だ▲獨逸ではカイゼルが墺國の單獨媾和熱を叩き消しに行つたかと思ふと自國でも媾和說が又々聞えだした▲彼の財政だから協商國側では笑つて居るから成立の見込はない困しくなると媾和々々なんて阿呆らしい

東京發別電

▲誘引參加拒絕　三日內閣議に於て減債基金問題に就き協議する處あり減債基金還元に內定したり……會を召集し支那誘引參加問題……

▲地方官會議　五日地方官を……條約施行の結果現に日本人との交涉……

▲北崙鎭守使推薦　段上將を任用せん事を北京政府に建議せり

▲奉天省協欵完納　支那の中央協欵……十萬元を調達して帶同上京せしめたり

▲洮南商埠の地價　……部に通知し許可を請へり上等每畝三十元中二十四元下十六元

▲馬賊討伐隊歸奉　本年六……歸奉せるが同時に捕虜……兵の戰死者四名を護送したりと

○奉天警報

大隈主宰の下に生れたる新日本十二月號の偉觀
新日本　大正聖代號
御大禮記念號
天下無比の大記念　千載不朽
○天皇陛下　○參列者感想錄
御大禮と建國精神　大隈首相
御大禮本紀
全國記念事業一覽
大戰と巴爾幹
若き秘書官
二千五百年の著作物大懸賞
本號に限り定價卅五錢郵稅三錢
富山房

謹告
今般左記の處に於て辯護士業務に從事致候間此段謹告仕候
大正四年十二月
京城旭町二丁目十番地（原勝一氏邸跡）
辯護士　法學士　三浦顯藏
電話三三七番

此雜誌を讀めば社會の人間眞相が分る
月刊雜誌　世の中
大晦日　野依社長
金一錢より月收七十圓の下層社會成功者
一億二千萬圓を有する三井十一家の生活
同志會のドル箱物語
十二月號　定價金十八錢　郵送料一錢五厘
發行所　東京日比谷　實業之世界社

賛化病院
京城本町二丁目　電話二四二番
入院隨意　普通病室並隔離病室
院長　醫學博士　古城憲治
尿。便。血液。喀痰等臨床的檢查の依賴に應ず（每日五名を限り無料施療す）

大觀艦式擧行

聖上親しく臨はせ給ふ

東京灣頭空前の偉觀

大元帥陛下には大觀艦式擧行の爲め四日午前七時四十五分宮城御出門陛下には海軍大元帥の御正裝に許多の勳章を御佩用あらせられ鷹司侍從長御陪乘宮相以下多數の供奉を隨へさせられ東京驛に行幸、東伏見宮殿下を始め大勳位文武百官の奉迎を受けさせられ添田鐵道院總裁の御先導にて宮廷列車に召され同八時御發輦同五十分横濱驛御著輦、片岡特別觀艦式指揮官、以下多數官民の奉迎を受けさせられ軍樂隊の『君が代』吹奏裡に税關前の新設假棧橋より御召艦筑波の艦載水雷艇に乘御內山侍從武官長陪乘申し上ぐ此の時滿艦飾を施したる港內の諸艦は一齊に皇禮砲を放てば殷々たる砲聲港の內外に徹す聽て九時十五分陛下には御召艦筑波に御乘艦あらせられ供奉の諸員も之に隨ひ奉れば錨旗は直ちに御召艦の高檣に揭揚せらる、斯くて　陛下には艦內將官室の玉座に著御、御少憩の後片岡指揮官、加藤海相以下陪觀の大勳位、親任官以下に謁を賜ひ終りて艦上に立たせ給ふ、此の時本牧假著陸場に準備を整へたる七臺の飛行機は翼を列ねて水面滑走を爲し來り御召艦に近付くや順次飛翔し單縦陣形を作りて御召艦の高空を翔る、聽て十時に至れば常磐を先頭に矢吹、滿洲殿に供奉し徐々進行し始むれば　陛下には艦の樓上に上らせ給ひ龍顏麗しく颯爽たる大元帥の英姿仰ぎ奉るも尊し、御側には片岡指揮官侍立し御召艦の過ぐる處碧波飜て長濤を捲き起し煤煙高く天に沖し第一列と第二列の間を徐行すれば各艦登舷禮を行ひ萬歲を三唱す　陛下には双眼鏡を執らせられ仔細に左右の各艦を觀はせ給ふ、艦は進んで列の東端に出づれば舵一轉して北に向ひ再轉して西に向ふ、聽て御親閱を終らせられ、零時五十分御召艦より片岡指揮官の旗艦扶桑に移御一時より扶桑、比叡及び金剛艦內に於て觀艦式關係の高等官及び陪觀者一同に午餐を賜ひ　陛下には二時十五分再び御召艦に移御還幸の途に就かせられ行幸の時と同一の御順路にて横濱停車場に成らせられ五時十分東京驛に御著輦無事宮城に還　御あらせられたり（東京特電）

參加飛行機墜落

フ式第十一號海中に沒入

荒木中尉絶命多田大尉危篤

大觀艦式に參加したる各飛行機は四日午後三時五十分追濱に向け歸航の途に就きたるが內フ式第十一號（荒木中尉操縱多田機關大尉同乘）は四時本牧水上に著し更に追濱に歸らんとし沖合四百米突の所に至りて飛翔せる際突風に煽られて顚覆海中に沒入し直ちに本牧假著陸場に引揚げたり其の際荒木中尉は既に絶命し多田大尉は人工呼吸を施しつゝあるも蘇生の見込無きもの丶如し飛行機は目下漁船數十隻にて墜落の現場附近の海中を搜索中なるが著陸場附近の雜沓名狀すべからず（東京特電）

長澤飛行家も墜落

身體に異狀無し

四日鳴尾飛行場にて民間飛行家高左右、阪本、長澤三氏午前午後に渡りて三機交々飛行す長澤氏操縱巧みに孰れも得意の妙技を揮ひしが午後の飛行にて長澤氏は海中に墜落せしも身體異狀なかりしは幸ひなり（大阪特電）

冬籠り研究

（四）冬は冬らしい職業がある

結氷期三箇月の間は京城では先づ土工建築の類は休止さる丶と云つても可い位で、瓦斯、電氣、水道等萬止むを得ないもの丶外には修繕すらせないのだから從つて之等の事業に係はるものは職業も休止せねばならぬ譯である、然らば

▣**大工さか左官**　とかは此冬中は慘憺たるものであらうかと云ふに、之等の職業に從事して朝鮮に永く居る人々は結氷期に對する用意が他の職業に從事するものに較べてより以上に整へられて居る、京城には大工左官が一千人以上も居るが春から秋に掛けて一日一圓二十錢から五十錢の工賃を取つて居り、冬の結氷期は徒食せねばならぬものとせられて居る、冬あるが爲めに大に貯蓄心を養成されて、此三箇月間の冬籠りに要する費用は大抵準備せられて居る、併し之れは

▣**京城に常住さ**　るもの丶、心掛けで所謂渡り者、飛び入りの大工には這麼心掛けのあるものでなく中には友達の家に厄介になつて居るものもあるが多くは冬中は日本に歸つて、春三月工事の始まる時分に又出掛けて來る、京城に止まつて居るものでも此冬中を萬更遊んで暮らして居るもの許りではない、指物の出來る大工は冬中は自分の家で建具類を作る、建具家と連絡をとつて居るものもあるが又中には古道具屋と交渉をして新らしい

▣**古道具を作る**　ものもある古道具屋にある新らの建具類は多くは此種の大工の手になつたもので手間賃を多く取つて居ないから値段も自然に安く出來て居るのである、京城に常住の大工——棟領と云ふ株になると冬の仕事は自分で其れ〳〵考へて居る、仕事がないと云つて出入のお顧客もあることだから修繕とか色々と仕事もあるから萬更居食ひをする譯でもなく、又氣の利いた棟領になると秋頃から朝鮮人の頽れた温突を買ふ、地所を別にして買へば

▣**温突は極く安**　いものであるから冬になつて暇の時になつて自分達の手で之れを修繕して內地人の居住に適する樣に模樣替をして相當の價格で賣つたり、又貸家にして日々家賃を上げて行くものもある、尚此他冬季になつて商賣を變へたり又冬中の商賣に就いては面白い事もあるが之れ等に關しては何れ稿を改めて冬季の副業と共に研究することにせり（をはり）

渾然玉の如き人

逝ける岡村鐵道局技師

▲**眞に其職を樂しんだ人**

予は岡村さんの神戶時代に矢張り神戶にゐた事があつたが其職に勉勵な事は殆んど他に比類を見ず酒も煙草も飲まず碁も將棋もせず何一つ娛樂を持たず眞に其職を樂しむと云ふ有樣であつた自分が下級から身を起したと云ふ譯からでもあらうが非常に下情に通じ同情深く

▲**常識に富んで**　ゐた部下の工夫の盜棒に俸給を上げてやつたなどと云ふ話は有名なものだが此處に來てからも或時の如き路で過つた少年豆腐賣に其境遇を聞き病床に惱む兩親同胞を養ふ爲めに學校の退けた後で豆腐賣を爲す事を知りわざ〳〵官舍迄連れて歸へり家人に其由を語つて豆腐を買はせ尚ほ其上に近隣の官舍を一々紹介して廻つた事があつた面白いのは電車の朝鮮人の車掌で『鐵道』の『兩班』と云つて一々敬禮して相だ非常に氣の短い人で今言付けた事はすぐにしないと好まないと云つた人であつた娛樂はなかつたが折々活動寫眞を見に行く事があつた一人で浴衣掛けなどで本町あたりを歩いてゐる姿をよく見受けたものだが

▲**活動寫眞を見**　に行くにも乾度一人だ氣が短いものだから幕間の長い長篇などは好かないでズンズン進んで行く西洋物など見てはサーッと歸へると云ふ有樣であつた多年の經驗ではあり一目見れば線路の故障など瑣少な事でもすぐに發見した汽車に乘つても其動搖の模樣で線路の安否を察知し得ると云ふ有樣であつた神戶に居る時など每朝非常に早い汽車で大阪京都あたり迄行つて線路の視察をして來て出勤してゐた朝鮮に來てからも其調子は捨てないで四季を通じて如何に遲くても六時には起き出勤前に構內巡視を終つてると云ふ有樣であつた部下に仕事をさせる事の非常に上手な人であつたが言はど何でも自分で進んでするといふ調子の人であつた（村瀨副參事談）

英國人朝鮮へ

虎狩り

[illegible]總務局監督英國人サーリチャード、テーン氏は四日朝郵船八幡丸にて門司著同夜渡鮮の筈氏は直に忠淸北道堤川にて虎狩りを爲したる上北京に赴く筈なり（門司特電）

初冬小品（六）溫突——前川千帆

背負投げを喰つた藝妓一同

焦れめいた演藝場は手に入らず

それが動機となつた物騒な決議

變に錯雜つて來た藝妓連の演藝場設置問題も優先權を占めた當の持主田村義次郎氏が斷然賣らぬと頑張つては今更諦うする事も出來ずその間を折衝した中券番の役員は四日午後二時中券の藝妓一同を券番に集めてその顛末を曝け出した。

▲**それは最初**　藝妓一同が協贊會側に[illegible]堀內商會の[illegible]此の話を持出した[illegible]取らうとは思ひません、お話によつては何とかしませうとの事に一同乘氣になり然らばといふので運動を進める間に田村氏は何と思つてか藝妓側を出し拔いて遂かに堀內商會と賣買契約を結んでしまつた、此の報に藝妓側は寢耳に水と驚いて馳けつけた藝妓側の言分は通らず

▲**更に協贊會**　の理事の一人に泣きついて交渉して貰つたのが二日の午後、あなたの方でもいろ〳〵御都合はあらうが折角一心に思ひ込んで欲しがつてる藝妓側の衷情も汲んで相當の方法を立つれば讓つてやつて貰ひたいと言ふのに對し田村氏側では來年黃金館を新築するは既定の事實で幸ひ演藝場の材料を利用すれば一萬圓で濟むが全部

▲**新に取揃へ**　てかゝるとすれば二萬圓はかゝる、すれば此の際お前さんの方に讓渡すれば私の方は結局一萬圓ばかり餘計に掛ればならぬ、それはどうして呉れるといふに至つて全く交渉の餘地も無くなり茲に一同手を引いたわけだ、ところで此の日藝々券番に呼ばれて更めて交渉の顛末を聞かされ引き下るまでもなく此の話を聞いた三太、若一、其の他の連中が躍起となり宛ら現代、その、たか其の他の連中が躍起となりさこんな浸雅な事があるものかと、柳眉を逆立て今度の問題の發頭人でもあり文學者を以て任ずる三太が起草委員となつて左の意味の決議をした

萬金館問題に關し田村氏の不德義に對しては飽くまでこれに反復すべく同氏の經營する萬金館には吾々藝妓は今後一切出入せざる事、若しこれを犯す者ある時は私交を絶つと共に藝妓仲間より絶對に排斥す

▲**而して此の**　實行委員に三太、若一等の外十人近くを擧げ券番に實行を迫る事になり券番でも大きにこれを諒とし組合に圖る事になつた、行によつて見ると目下藝妓側の鼻息は猛烈に荒く一方田村氏の方でも斯うなつた以上花柳界との乖離も辭せずと踏張り、大分面白くなつて來た。

▲**「藝妓に意地はね」**

若一、三太の憤慨はなし

右の問題に就いて斷然に蹴られた以上に口惜しがつてる淸華亭の三太、花月の若一なんどの婆さん連は所謂**慷慨悲憤泣きの淚**で語る『今度の事ばかりは何と考へたつて口惜しいぢやありませんか、一旦花柳界とは競爭はしない快く讓らうと言つておいて掛合都合が出來たつて今更可げないとは餘まりであれそれにお前たちは藝妓なしてゐて深山黃川の要る演藝館なんか引受けてどうするんだなんて隨分失敬な事まで言はれたんですが、なあに話が進みさへすれば忍びに忍んでゐたのに此の始末なんですよ、然しもう斯うなつた以上**薩張りと諦めます**、その代りに見ていらつしやい藝者こそして居れ女の一念死んだつて忘れつこはありません、決議した通り田村さんのやつてる黃金館は勿論問題の演藝館が出來たつて決して藝になんか行くもんですか、こうなつたら此方も意地、やるとこまでやつて見せます、昔から藝妓に意地は附物ですからね』と凄まじい氣焔だ

▲**京城券の態度**

意見はまち〳〵

京城券番では本問題に關し最初から足並を揃へてかゝつた以上中券連中と同じ態度に出るかどうかといふに何分十九軒からの置屋があつて各々考へが異なるところへ底には底のいろ〳〵の事情もあつて全部が全部中券の如き猛烈な決議に加はるや否やは判らぬが中には隨分過激なのもありなあに怯んな事で一生懸命になつて詰らないと溫健説を唱へるもあり結局皆の意見が纒らぬのならの問題から手を引かうと主張するもあつて目下協議中である

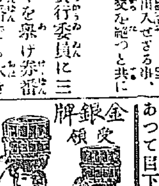
▲京城商業會議所議員の選擧期日切迫と共に彼方此方に喜劇が演ぜられ▲運動員の宅に反對側の運動員が舞込んで嗚咽を露すと云ふ滑稽もある▲御多分に漏れぬ候補者某君は御大自ら出馬さあつて塚谷孝二郎君を訪れ例の『何分宜敷』で頓首三拜▲胸に一物の塚谷君運動はしてやるが條件があるとの返答▲選擧運動などの條件と云へば大抵相場が定まつたものだが如何切出すかとビク〳〵ものであると▲塚谷君曰く『評議員になつたら京城の各商店の日曜休業を提案して必ず之れを斷行せしむる』と言明したら一も二もなく双方契約が成立したさうな▲塚谷君は生むが易くそんなをなら朝飯前と肌拔かう！▲雨か風かと案じたより聞いて見ると日曜位休んで身心を練る暇を與へなくちや文明の商人にはなれぬと▲道般抱川に狩に出掛けた京城の醫師會の人達は意外の失敗に終つたので五日の日曜に更に城に遠征するさうな▲一行二十餘名一列車借切りで獲物を持つて歸りたいと素破らしい意氣込

◎**坂本商店の賣出し**　京城黃金町黃金遊廓前の同店にては開業七週年記念の爲め十二月二十五日まで酒政は醬油一升代金にて賣出せし客へ正宗白米一升を景品として贈呈する由にて店頭顧客絶えず非常の繁盛を呈しつゝありと

◎**曹洞宗別院例會**　曹洞宗大本山別院にては[illegible]五日午前十時より例會を開き高田老師の[illegible]

◎**德島柑橘の好評**　德島縣に於ける柑橘類[illegible]

▲本椿香油



金銀牌受領　髮を黑く長くつやを出しさら〳〵として髮のぬけか防ぐ妙藥　本椿香油　本舗大阪三宅堂

謝禮謹告

今回本縣柑橘販路擴張の爲め鮮滿各地の市況實地視察の際京城南大門東市場委託問屋藤岡儀三郎商店に於て試賣に附せし處多大の好評を以て迎へられ候段茲に厚く感謝の意を表し申候
尚將來品質精撰引續き移出致す事に相成候條益々御愛用あらん事奉希望候

德島縣農會視察團

日韓瓦斯電氣株式會社製品　コールター　特約販賣　巴商行　龍山漢江通八番地　樋口米太郎
鍍鎔其他鑄造製作　久保田鐵工所代理　同　工場　電話四二四番
電氣用品工事設計請負　中村製作所代理　京城明治町二丁目　同　支店　電話一四三五番

歳暮大賣出し
十二月五日ヨリ三十日迄
京城本町壹丁目
三中井呉服店
（支店所在地）（大邱　元山　平壤）
電話三十七番　振替京城五二四番

▲東京期米特電

▲東株取引開始　東株は取引を開始せり多少活氣を創きたるが如し

[illegible]引續き加拒絶に決定し三國政府に對し其々通牒する處ある可し

▲減債基金問題　三日內閣會[illegible]

仁川米豆取引所

▲正米受渡[illegible]

▲外交諸議員設置　日支新案北京政府に稟請せりと

▲本日の[illegible]

北京より從額の催促急なるを以て財政廳長張道孫氏は百方苦心の末三[illegible]に赴任一切の準備中なる[illegible]地價を下の如く酌定し段巡按使に報告せるにより按使は之を財政交通兩[illegible]要するを以て段上將軍は馬瑞蘇中將[illegible]て守城八百餘支里に及[illegible]馬隊第二營約二百名は馬賊に先んじて引揚げし爲め一日午後五時一先づ[illegible]

千生瓢（59）

須藤南翠作　筒井年峰畫

第一戰（十二）

佐久間盛政近々と馬を前めて、『何とせられた中川殿、乘替進せ申さうか』と、嘲笑つて詰め寄する。拜郷久盈も亦左右より寄せて來て『砦も今は落ちておざるぞ、何處へか引かせらるゝ、只尋常に討死を遂げさせられい。日來傳へ承はつたとは違うて、無下に卑怯に見え給ふぞや、臆れらるゝか中川殿』と、口を極めて嘲つた。

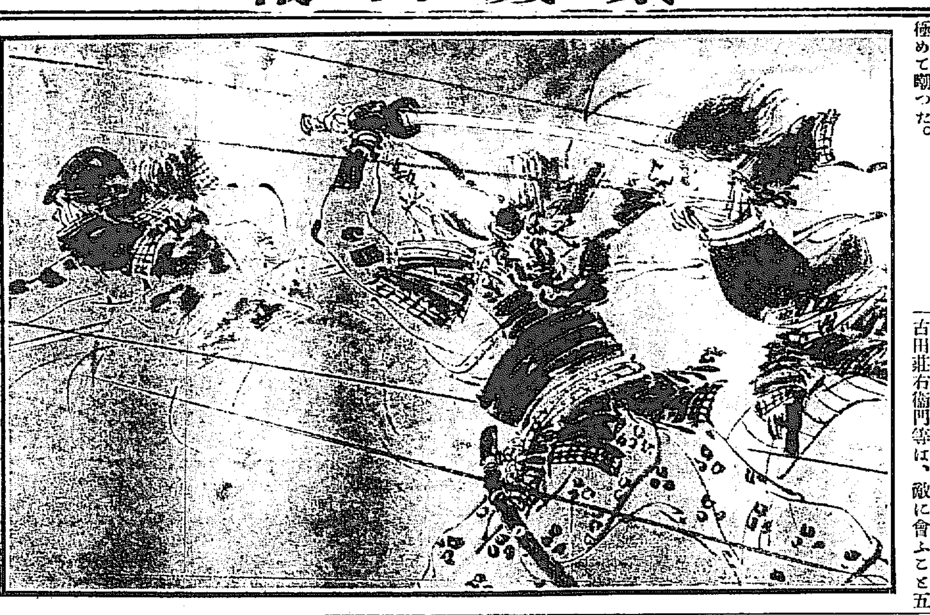
瀬兵衛清秀は怒れる聲を張上げて『一足なりとも此處退かうや。憎き物の言ひざまかな』と言ふより早く三尺二寸、相州貞宗の大業物を引き拔いて、群がる敵へ斬り込んだ。餓たる虎の群がる羊を驅る如く、清秀が過る所、流るゝ血は川をなし僵るゝ屍は丘をなす。看る〳〵前面の越前勢十七八騎討ち取られて、颯と左右に開く所へ、中川小右衛門、同苗淵之助を始めとして、世臣恩士の面々、主の歩勇に劣らじものと殺到し、右往左往に狂ひ廻る。皆命を鴻の毛よりも輕んじ、義を富士ヶ嶺より重しとして、後の名をのみ惜む武士であれば、斬れども突けども

いつかな挫けず、踏込み〳〵働けば流石武勇の越前勢もあしらひ離ね、拜郷山路先づ打負けて左右にばつと引き退ぞいた。

此時中川が勢を見るに、初は二千餘騎と註せられたが、今は僅に三百餘騎に討ちなされた。其さへ諸手一箇所負はぬ者はなく、鎧の草摺は切り落され、兜はいつか振落して、皆大童になつてゐる。宿將辻喜太夫、古田莊右衛門等は、敵に會ふこと五十餘箇度、勇戰拔群と聞えたが、終に亂軍の中に香骨を横へ、殘る組下四五十人は、大將清秀の旗印を見て皆旗下に馳せ參じ、生死を一所と誓ふのであつた。

清秀堅く備を立て、馬の上に伸あがつて、籠手を翳して見てあるに、佐久間玄蕃允盛政、またもや中川の馬標を見出して、小勢なるを侮りてや、引包んで擊ち取らんと、三方より押寄する。

『寇先に進むは玄蕃允、續いて久左衛門安次、源六實政、馬煙を立て押寄するわ。瀬兵衛が死すべき時は來た。いで〳〵玄蕃允と引組で、一擧に雌雄を決するであらう』



清秀は太刀の目釘を喰ひ濕して、馬を陣頭に立てんとした。小右衛門九郎次郎左右より轡を控へて、

『いかにも戰は是までおざる。去りながら、如何に亂軍に及ばうとも、大將既に討たれた事をば、敵に知らさぬが肝要と、豫て承はり及び居る兄弟こゝにて防戰致さば、早く御自害なされませう。御首級は誓つて敵に渡し申すまい』と、語を盡くして諫めるのであつた。

清秀は莞爾と笑つて、

『其方共の申す事も、一理あるとは存ずるが、斯く小人數に討ちなされては、所詮今は其甲斐なし。殊に清秀若年の初陣より、今日に至るまで敵に後を見せる事を存じ申さぬ。死ねば切り死に、一人でも敵を多く討ち取れば、此上の愉快はない。其處離せ』と、一鞭當て乘り出した。

大將自ら敵に當るを、引下つて見物する中川勢ではない、我も〳〵と主の馬に引添うて進む程に、佐久間、拜郷、山路の三手、東西南北より押包んで、犇々と攻め寄せる。清秀續く兵士を顧みて、

『敵に近々と寄せられて、之を討たず末代までの恥辱なるわ。いで追つ散して見すべきぞ。續けや者共、其方共も弓矢取る身、子孫を思はば我に續いて討死せよや』と、相州貞宗を閃かして、眞只中へ割て入る。

清秀今茲四十七歲、元氣五體に充ち渡つて、思慮深く、伎倆熟す。今日を最期の決戰と思ひ極めた英氣鋭く縦横十文字に馬乘り廻し、手の下に五六騎切つて落し、十五六騎に重傷を負はし、右にかへし左にめぐり前に在るかと見れば後に現はれ、電光石火の早業に、敵の備へを蹂躙る小右衛門、九郎次郎、古田喜助等、いづれも主に引添うて、當るを幸ひ薙ぎ立てるので、必勝を期した越前勢も、また浮足になつたのである。

滿蒙處分論　クロパトキン將軍原著　日本大井包高譯　定價金一圓　郵税本社負擔　京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇番

◎名譽ある國産白粉　婦人の生命とする白粉は昔夫々撰擇を要するものであるが殊に各宮家高貴方の御召料としては主として從來舶來品のみ御使用との事なりしが今回東都にて行はせられたる御大典に際しては舶來品に優るとの許ある美顔白粉のみ御用遊ばされるといふ同品の名譽は此の上ない事であらう

新龍山三角地の　**むしぶろ**　どんな病にも能く効く必ず一度御試めしなさい

るいれき病　グリグリの出來て困る人少しも痛まず不思議にヨクナル藥あり困難者は三錢封入申込あれば詳細報告書及試藥十枚封入呈　東京府麻布本村町一一五　平井博濟院

商況

大阪三品
四月限　一二四、六〇　一二四、六〇
五月限　一二五、八〇　一二五、八〇

大阪期米椅電（前日）
寄付　高値　安値　引
一四、五〇　一四、八二　一五、三五
一四、二〇　一四、八二　一五、三七
一四、二〇　一四、八二　一五、〇六

▲後場の大商戰　[illegible]

麻病梅毒

◎麻病療法に付て

醫術の進歩に供ひ麻疾治療法は諸大家の競て研究し內服藥は勿論洗滌法注射法等種々立案ありと雖も未だ完全なる結果を見ず今猶ほ學者間研究中なり然るに本館發賣の治麻藥は昨年二月發行以來今日迄數千の患者に付實驗する所百發百中とも謂ふ可き成績を現はし且つ多數の醫師に於ても本劑を專用するもの次第に增加するに至れり殊に本劑は[illegible]「ボロウエ」「チーン」「サンタール油」（Oleum santali）並に本館秘傳藥を配劑調製したるもの[illegible]患者諸氏は世の安價なる山師的製品に迷はされ[illegible]或は麻病藥として一日分四十錢乃至五十錢の暴價を以て購著さるゝ愚を學ばず[illegible]本館の治麻藥は主藥公開しあり通常素人は勿論醫師も用ひて無比の治麻良劑なり

治麻藥　一週分カプセル五十個入　金一圓二十錢　二週分同百個入　金二圓二十錢

治麻球　一週分カプセル五十個入　金六十錢　二週分同百個入　金一圓十錢

◎**梅毒秘密に療法に付て**

▲梅毒療法　種類を擧ぐれば（一）六〇六號注射療法、（二）水銀劑注射法、（三）塗擦療法、（四）吸煙療法、（五）各種內服法

以上六種であるが一得あれば一失あつて六〇六號の如き[illegible]るものは恐る可き危險を伴ひ亦藥毒少き者は効能薄く未だ完備[illegible]『サルワルサン』の爲め『六〇六』の中毒を受け或は水銀劑又は鉛毒等の中毒を受けたる者に對し有力なる驅毒劑たり[illegible]以上三大特長あるものなれば秘法として實に理想的良劑也[illegible]六〇六號療法其他各種の治療法を施せし人と雖も本劑を御試用あれ

根治丸　一週分　金六十錢

擔任藥劑師　中島義次
助手藥劑師　渡邊　力
京城南大門通四丁目　**救世藥舘**　電話二六八　振替口座二一九六三番
『賣藥』『製丸』『製藥』製造の依頼に應ず

京日案內

◎普通　一回前金三十錢（割引）
◎京城旭町一丁目入口　えり京旅館　電話六五九番（朝鮮銀行前）84
◎看護婦募集す　希望者は履歷書携帶來談あれ　但し有資格者　○仁川寺町電七四　△仁川看護婦會　123
募集　證人保證金要す　會計係外務員自筆履歷書持參來談　○京城本町方面市內在郷軍人敎育會　122
◎信用秘密　貸金　官吏會社員の御方へ小口融通　京城大和町三丁目　不老湯前横丁　起木屋
◎雜誌記者至急入用男女數名　自作物持參來談あれ　若草町一〇六　△橫尾　115
◎古本なら野村　買入誠實御報參上　京城本町一丁目（明治町筋）　野村書店　電話二六三六番　112
◎番外　一回前金六十錢（割引）
◎日鮮人外交員募集　希望者は午前中來談　京城吉野町一丁目九一番地　明治產業株式會社代理店　吉田　124
總督府中樞院　警務總監部　憲兵司令部　御用　引越荷物諸人夫請負　本町二丁目　人力車帳場　電話一七九四番　一〇組　114
內科兒科　專門　胃腸病　呼吸器病　京城本町二丁目元中島病院跡（入院隨意）　山田醫院　電話二八〇番　81
◎質屋　支那領事館通り　京城黃金町二丁目十九番地　新築落成前同樣御引立願上候御取扱可致候　電話二九一六番　田村質店　902
◎醸造　平壤內田醸造場　醬油は今回の大共進會に於て銀牌受領　眞價と證明の倍舊の御引立に依る　新龍山局前電話二四六番　內田出張店乞ふ　936
◎はねつき等（うちみくじき）　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　847
▲パン　品質の優越せると目方の豊富なるは　太平通二丁目　電話は一一八九番へ御掛下さい　相川パン屋に限　47
◎鞄類並に洋馬具一式　ズック革具其他品　製造販賣　◎京城明治町二丁目　古賀商店　製品確實廉價提供　電話一八三番　82
梅毒　產婦人科　內科　外科　肺結核　黃金遊園前電車通　上野醫院　◎診察夜九時迄　◎往復電車の便有　電話二九三四番　97
◎質　○秘密を守り精々勉強　○仕切り親切に取扱申候　黃金遊園前電車停留所横入　金子質店　電話三一一番　96
恩給　年金類低利長期立換短期　無保險地方在住者上京に不及便法あり其他擔保信用貸仕候　京城南大門外　山口屋　98
◎移轉先◎京城永樂町二丁目（本莊酒店隣）　移轉　塗物製造販賣修理　金銀文字木杯調進　會津屋漆行　電話一六三四番　110
恩給年金退隱料長期即時取引來る十二月廿五日迄二萬圓限度貸付十圓以上特別契約　黃金町通櫻井町入軒西四ツ角園　電話一一二一番　103
好職　ゴム事業傳授す月收廿圓以上詳細郵券十錢送れ　○ルーデサック一個五錢子宮サック同五十錢密送ゴム風船唱屋京城大漢門前電二六〇六太陽ゴム商會　111

歲末大賣出し

十二月六日より同三十一日まで最も好評なる福袋は

御買上金額壹圓每に進呈致します

京城明治町　唐川吳服店　電話二六一番

平安農工銀行沙里院支店支記入登記事項變更　主人ノ住所移轉ニ依リ平壤府壽町拾六番地ト變更ス　右大正四年拾貳月貳日登記　海州地方法院　瑞興支廳

七週年自祝の爲め十二月二十五日迄御買求めの御方に上白米壹升を添へます　並に醬油壹升現金にて八十錢迄他店に比較して御安く賣ります　京城黃金町黃金遊園前　坂本商店

完全無比家庭溫泉の原料　偉大の信頼を博せるラヂウム家庭溫浴療法　かぜひきは萬病を起すもとです冷え込みは御婦人方に大敵です[illegible]リウマチス痔疾夜尿不眠[illegible]體內から能く暖め湯冷せず身體を旺盛にし血の巡環を能くし元氣を増し精神を爽快ならしむ　嚴格なる試驗を經る日本ラヂウム含有鑛粉　は東京衛生試驗所の試驗を經て品質毎に同所の封緘を施せし以て優良なる事を表明す　定價小函六十錢　發賣東京青山穩田大平商會　各地著名藥店にて販賣せり

日本ラヂウム含有鑛粉

一日五人でたつた三錢五厘

朝鮮一手販賣　京城諸町　竹内菊太郎　取次店　小林甚藏　電話二六二四

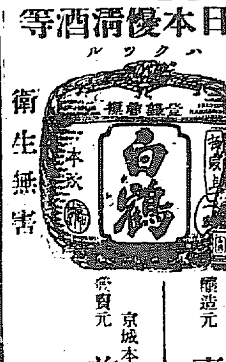
東洋一實用靴　防寒用御披露　弊店製造の靴皮スリッパは値段破格の安價にして堅牢なるを特色とす　一ラシャ靴防寒用　金一圓廿錢以上金二圓六十錢　一麻布靴運動用　金一圓卅錢以上金一圓八十錢　一スリッパ一式　金廿五錢以上八十錢迄　此他御注文に依り隨意調製可仕候地方は代金引換にて迅速荷造可致候　商標(K)　京城黃金町三丁目　二葉屋實用靴製造卸小賣所

新刊書御案內

書名	著者	定價
◎人間と自然	大町桂月	一〇
◎最近の自然科學	田邊元	一二〇
◎珍らしい自然界の現象	横山又次郎	一〇
◎青年立志の教訓	土岸春吉	九〇
◎三宅雪嶺青年訓	修道文庫	一〇
◎乃木大將學生訓	渡邊石水	六〇
◎實用諸算法	石橋梅吉	二五
◎社會的個人主義	大杉榮	九〇
◎人心收攬術	川端正輝	六〇
◎根氣の世の中	宮川克己	一二〇
◎原始的民族の秘密	講田皆仁嵐譯	一二〇
◎基督教十講	宮川經輝	一〇
◎公民敎育の理論及實際	川本宇之助	一六
◎現行小學校關係法令全集	壹卷	六〇
◎土木工學上卷	遠藤松本德弘	二五
◎簡易製鐵術	向井哲吉	二三〇
◎朝鮮名勝詩選	島城豊刊	一三〇
◎皷川集	宮川皷川	四〇
◎米穀經濟	出尻稲次	六五
◎店頭裝飾術	清水正巳	一二〇
◎標準かるた	諸札取扱各	四〇
◎練習用標準かるた	讀取無川	六〇

京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三　**大阪屋號書店**

大日本優淸酒等　ハクツル　品質純良　衛生無害



醸造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町四丁目十四番地　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

新案特許　生殖器眞空療法
無代送呈　發育不全、短小、萎縮、早漏、老衰及び皮かむり等は米國ボリック博士の研究療法と包莖自然療法とにて自身で簡易秘密に根治し得らる本新聞名をハガキに記入して申込ば日々來る患者の體驗報告と說明書を密送す（東京に僞物あり）大阪北區北森町　電話東二七〇九　新療法研究所
專賣特許　皮かむり自然療法

鑛石買入廣告

一、重石（タングステン）鑛　一、アンチモニー鑛
一、亞鉛鑛　一、雲母
一、マンガニース鑛
一、其他鑛石類
右買入れの御相談に應じ可申候
釜山　ホームリンガ商會

買入廣告

一、唐辛子　一、亞麻仁
一、落花生　一、牛尾毛
一、牡蠣殼　一、鯨骨、鯨鰭、鯨油
右買入れの御相談に應じ可申候
釜山　ホームリンガ商會

移轉廣告

今般肩書の所へ移轉の上從來通り
一、一般輸移出入業
一、船舶代辨業
一、保險業
一、銀行業
相營み候間倍舊御引立の程願上候
釜山大廳町一丁目百六十番地
釜山憲兵分隊横（舊朝鮮瓦斯電氣株式會社跡）
大正四年十二月
釜山　ホームリンガ商會　電話四五四五番

資本金五拾七萬五千圓（全部拂込濟）
諸積立金廿二萬五千貳百圓
株式會社　朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目　電話五五八・一六八三・四一一番　振替京城一番
一般銀行業・倉庫業
銀行長　趙鎭泰
支配人　豊田明敬
南大門支店　電話五四四・七〇二番　振替一五八二・一九四番
仁川支店　電話八四九・一〇六二番　振替一六〇六番
本町支店
平澤支店